

# SST G1 Lite 字幕制作システム

## オペレーションマニュアル

## 目次

はじめに .....	5
インターフェースの名称 .....	6
ビデオ再生方法 .....	7
ツールバー .....	10
基本操作 .....	12
《プロジェクトの開始（新規）》 .....	12
《スポッティング》 .....	14
《スポッティングの調整と移動／トラックBにスポッティングをとる》 .....	15
《字幕の入力》 .....	16
《作業中のプロジェクトファイルを保存する》 .....	18
《既存のプロジェクトファイル（.sdb）を開く》 .....	19
《復旧されたプロジェクトファイルを開く》 .....	21
原文ウィンドウと台本ウィンドウについて .....	22
《ハコ割り》 .....	22
便利機能 .....	23
《全画面表示》 .....	23
《コメント機能》 .....	24
音声波形ウィンドウ上で編集 .....	25
《現字幕を画面の中央に移動する》 .....	25
《編集をロックする》 .....	25
《字幕の分割》 .....	26
《字幕の結合》 .....	27
《現字幕の削除》 .....	28
《Bトラックにコピーする》 .....	28
《字幕番号の設定》 .....	29
《ブックマークの設定／解除》 .....	30
字幕ウィンドウ上で編集 .....	31
《字幕を削除する》 .....	31
《Bトラックにコピーする》 .....	31
《空のデータをリストの最後に追加》 .....	32
《字幕番号の設定》 .....	32
《フォーマット情報》 .....	33
エフェクト .....	34
《ルビ》 .....	34

《イタリック（斜体）》 .....	35
《傍点（強調点）》 .....	35
《表示位置・行配置（ポジション）》 .....	36
《フォント及びエッジの種類、サイズの設定》 .....	37
《カーニング・レディング》 .....	38
《文字の自由位置》 .....	39
《効果（フェードイン・フェードアウト）》 .....	40
《マスク（座布団）を作成する》 .....	41
《マスク（座布団）の移動、またはサイズ変更を行う》 .....	41
《字幕をマスク（座布団）内に中央揃えする》 .....	42
ファイルメニュー .....	43
ユーザー設定 .....	43
《ガイドラインの設定》 .....	43
《画面表示の設定》 .....	45
《詳細の設定》 .....	47
ファイルメニュー～ユーザー設定 .....	47
《色の設定》 .....	48
《メンテナンスの設定》 .....	50
○表示の説明 .....	51
《ショートカットキーの設定》 .....	52
《ショートカットキーをデフォルトに戻す／削除する》 .....	53
《文字カウント》 .....	53
《データファイルのインポート》 .....	54
《SSTプロジェクトファイル》 .....	54
《台本》 .....	54
《見直し用リスト（Excel）ファイル》 .....	55
《データファイルのエクスポート》 .....	56
《見直し用リスト（TXT）》 .....	56
《見直し用リスト（Excel）》 .....	57
編集メニュー .....	59
《字幕の検索》 .....	59
《字幕の置換》 .....	59
《フォーマットの検索》 .....	60
《文字列検索によるカーニング設定》※オプション .....	61
《ブックマーク》 .....	62
《字幕削除》 .....	64
《字幕番号の振り直し》 .....	65
《字幕移動》 .....	65
編集メニュー～字幕移動 .....	66

設定メニュー .....	68
《フォーマット設定（全編設定）》 .....	68
設定メニュー～フォーマット設定 .....	71
《フォーマットの設定（範囲設定）》 .....	72
《デフォルト・フォーマットリストの作成》 .....	73
《タイムコードの基本設定》 .....	75
《フレーム落ち情報の設定》 .....	76
《設定情報のクリア》 .....	76
《フレームタイプの変換》 .....	76
《画面調整》 .....	77
《SST G1 Lite 画像調整解説》 .....	78
ヘルプメニュー .....	79
《トピックの検索》 .....	79
《ドングル設定》 .....	79
《バージョン情報》 .....	82

## はじめに

SST G1 Lite とは、映像字幕データ（テキスト・タイミング・エフェクト）を作成するソフトウェアアプリケーションです。ハコ割り、スポットティング、翻訳、字幕挿入、および特殊効果（イタリック（斜体）、フォント、表示位置・行配置、ルビ、傍点）が、すべて1つのインターフェースで作業ができ、プレビューしながら演出効果をふまえた高いレベルの作業が可能になります。

SSTG1 Lite オペレーションマニュアル Ver.1.0.0.01

2013年3月

All Rights Reserved, Copyright(c)2006,CANVASs Co,Ltd

### インターフェースの名称

8. [次へ]をクリックします。

メニュー

ツールバー P.10~11

ビデオウィンドウ

テキストウィンドウ P.17

台本ウィンドウ P.22

座標表示

映像表示倍率変更

ビデオカーソル

音声波形操作ボタン

ビデオコントローラーP.8

波形表示倍率

音声波形ウィンドウ

#### ○音声波形操作ボタン

- 音声波形を横に拡大します。(カーソルの動きが早くなります)
- 音声波形を横に縮小します。(カーソルの動きが遅くなります)
- 音声波形を縦に拡大します。
- 音声波形を縦に縮小します。

#### ○映像表示倍率変更ボタン

- 映像をビデオウィンドウにフィットさせます。
- 映像を目的モニタと同じ解像度にします。
- 映像を拡大します。
- 映像を縮小します。
- 91% ▼ スケールを選択します。

## ビデオ再生方法

○キーボードによる操作

『ビデオコントローラー』で作業を行う場合は、P.8 を参照してください。この操作は、全画面表示時にも使用できます。











- ・スペースキー：ビデオの再生・停止（『音声波形ウィンドウ』がアクティブで、[ビデオウィンドウ]に字幕が表示されていない場合）  
現字幕の再生（『音声波形ウィンドウ』がアクティブで、[ビデオウィンドウ]に字幕が表示されている場合）
- ・F11：ビデオの再生・停止
- ・F12：現字幕の再生・停止
- ・Esc キー：ビデオの停止
- ・右矢印：ビデオの再生（押し続けます）、コマ送り（1回ずつ押します）
- ・左矢印：巻き戻し（押し続けます）、コマ送り（1回ずつ押します）
- ・上矢印+右矢印：2倍速再生
- ・下矢印+右矢印：スロー再生
- ・Page Up：前の字幕へ移動
- ・Page Down：次の字幕へ移動

**!** これらの機能は、コンピュータの仕様によりスムーズに再生されない場合がありますのでご了承ください。

## ○ビデオコントローラーによる操作











## ビデオ全体操作

- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像の最初に移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、前のフレームに移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像ファイルを再生します。  
(映像を再生すると、 ボタンが  ボタンに変わります)
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、再生中の映像を停止します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、次のフレームに移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像の最後に移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の時間は、現在表示されている映像の時間を表示しています。













## 字幕操作


- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、最初の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、前の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、現字幕の映像を再生します。  
(現字幕を再生すると、 ボタンが  ボタン に変わります)
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、現字幕で再生中の映像を停止します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、次の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、最後の字幕に移動します。
- ・「In」は、現字幕の開始時間を表示しています。
- ・「Out」は、現字幕の終了時間を表示しています。
- ・「Duration」は、現字幕のイン点からアウト点の長さを表示しています。


## ツールバー





-  新規ファイル…新規にプロジェクトファイルを作成します。P.12
-  開く…SST G1 Lite システムで作成したプロジェクトファイル (.sdb) を開きます。P.19
-  保存…作業中のプロジェクトファイル (.sdb) を保存します。P.18
-  検索…『字幕ウィンドウ』に入力している文字を検索します。P.59
-  切り取り…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を切り取ります。
-  コピー…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字をコピーします。
-  貼り付け…コピーもしくは切り取った文字を貼り付けます。
-  元に戻す…行った作業をもとに戻します。
-  やり直し…元に戻した作業にやり直します。


 FA 丸ゴシックTV フォントの種類…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を指定したフォントに変更します。


 25 フォントのサイズ…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を指定したサイズに変更します。


 フォントの色…『字幕ウィンドウ』に表示されている字幕の文字色を変更できます。P.37


 カーニング・レディング調整…カーニングは文字間のスペースを調整し、レディングは行間のスペースを調整します。※オプション P.38

 イタリック (斜体) …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字をイタリック (斜体) にします。P.35


 傍点…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字に傍点を付けます。P.35

 ルビ …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字にルビを付けます。P.34


 丸型 エッジの種類 …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字のエッジを指定した形に変更します。※オプション P.37


 3 エッジのサイズ…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字のエッジ幅を指定したサイズに変更します。※オプション P.37


 エッジの色…字幕のエッジを指定した色に変更します。※オプション P.37


 組み文字…『字幕ウィンドウ』上に表示されている縦字幕の中の、選択した文字や数字を横書きで表示します。


 エフェクト解除…フォーマット設定で指定した設定をデフォルトに戻します。(ルビ以外)




 表示位置・行配置…字幕の表示位置・行配置の設定を指定します。P.36

 マスク (座布団) …マスク (座布団) と作成します。※オプション P.41

 マスク (座布団) の色…マスク (座布団) の色を指定します。※オプション

 自由位置…『ビデオウィンドウ』上に表示されている字幕を移動することができます。  
※オプション P.39

 マスク (座布団) の位置移動・サイズ変更…マスク (座布団) の位置の移動やサイズを変更することができます。※オプション P.41

-  マスク（座布団）の中央揃え…テキストをマスク（座布団）の中央に表示します。  
※オプション P.42
-  フェード効果…フェードイン・フェードアウト、カットイン・カットアウトの設定ができます。※オプション P.40
-  全画面表示…映像を全画面で表示します。 P.23

## 基本操作

### 《プロジェクトの開始（新規）》

字幕を制作するために基本となる操作です。

1. [ファイル] メニューから [新規]、もしくはツールバーの [新規] ボタンをクリックします。



2. [映像ファイルを開きますか? ]というメッセージが表示されます。  
[はい] をクリックします。

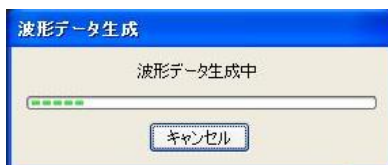
SST G1 Lite で取り込める映像ファイルは、MPEG-1 もしくは WMV です。  
SST G1 Lite に初めて取り込む映像の場合、「波形データの生成」と表示されます。



3. 映像を指定します。

4. [開く] をクリックします。

5. 「波形データの生成」が完了すると音声波形が表示されます。

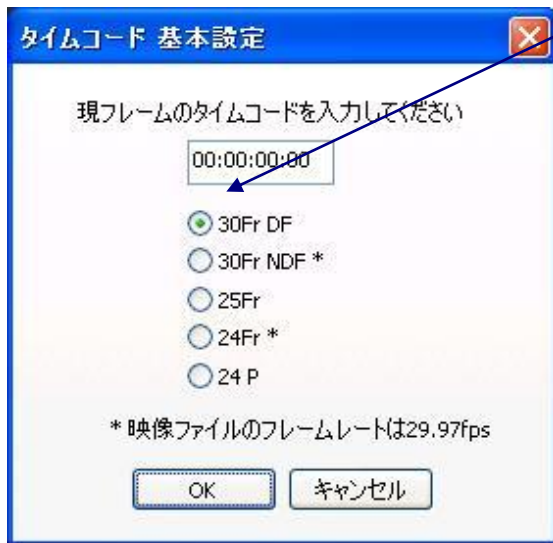


必要に応じて音声波形の大きさを調整してください。  
P.6 参照。



・ここでエラーが発生した場合は、次の事が考えられます。

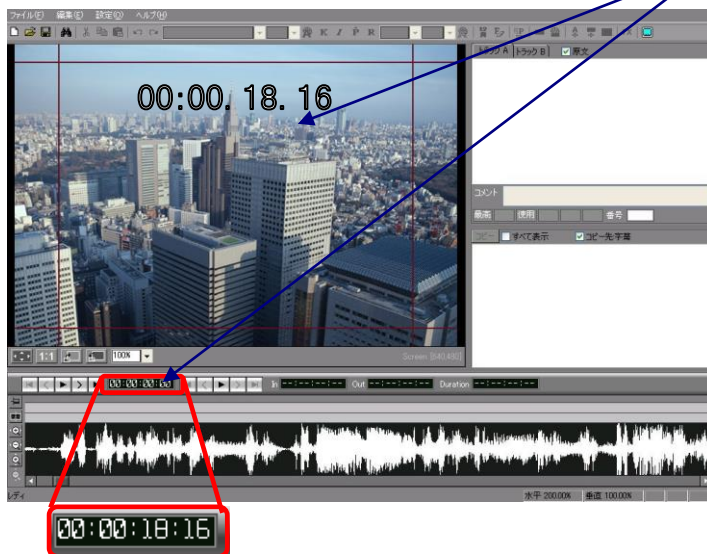
- ①映像ファイルが MPEG-1、WMV (WindowsMediaVideo) 以外である。
  - ②映像編集系のバッティングするソフトが入っている。
- ・途中でキャンセルした場合、音声波形は途中までしか生成されません。



00:00:00:00  
時 分 秒 フレーム

6. 音声波形上にカーソルを合わせ、映像のタイムコードに合わせて入力します。  
[設定]メニューから[映像とタイムコードの同期]を選び、[基本設定]でタイムコードを合わせます。P.75 参照。

タイムコードを合わせる時は、カラーバーや黒味の部分ではなく、映像がスタートし、音声波形があるところで合わせてください。



7. 映像のタイムコードと SST G1 Lite のタイムコードが同期しているかを確認します。

映像の一番最後にカーソルを置き、SST G1 Lite のタイムコードと同期しているかを再度確認してください。

必要に応じてフォーマット設定をしてください。  
P.68～71 参照。

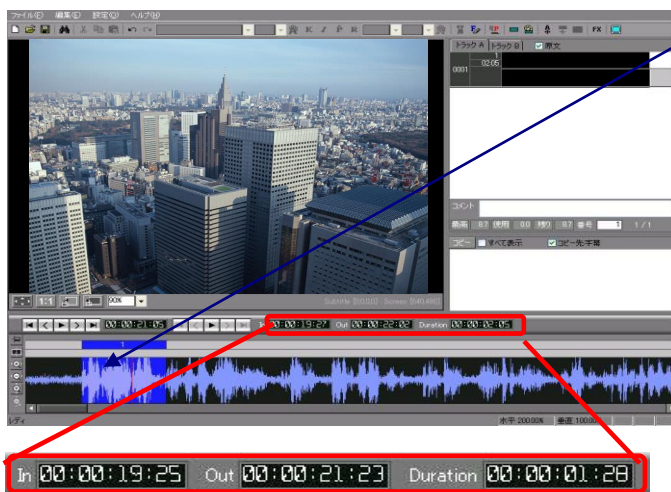
**!** タイムコード表示のない映像を使用する場合は、映像の先頭を 00:00:00:00 で合わせるか、目印となる場面でタイムコードを設定してください。

## 《スポッティング》

字幕を表示するタイミングを決めることを「スポッティング」といいます。メインのトラックは、トラック A です。

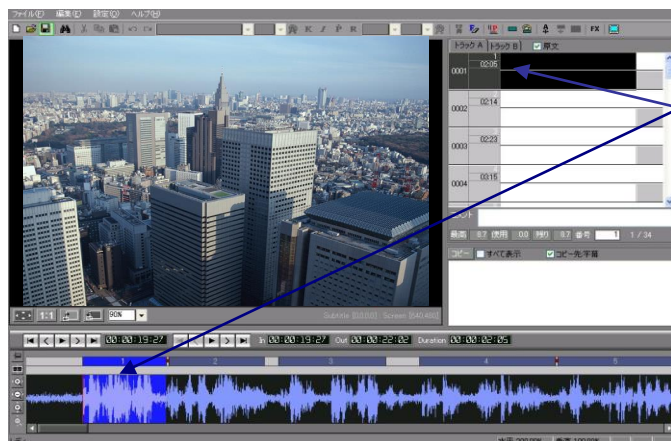
- ・イン点・・・字幕が表示される最初のフレームです。
- ・アウト点・・・字幕が消えて無くなった最初のフレームです。

(字幕が表示された最後のフレーム+1 の値になります。)



1. 音声波形をクリックして、音声を聞きながら、話し始めから話し終わりまでをドラッグします。  
または、Shift キーを押しながらキーボード上の左右矢印キーを使って指定することもできます。

インジケータにインタイム・アウトタイム・デュレーションが表示されます。



2. 1の操作を繰り返し行くと、順番に字幕番号が振られると同時に、テキストウィンドウにボックスができます。

○ショートカットキー設定し、キーボードでスポッティングをとります。

- ・ショートカットキーの設定方法

[ファイル]メニュー → [ショートカットキー設定] → [編集] → [インタイム・アウトタイムの設定]を選択し、任意のショートカットキーを入力、[設定]をクリックします。P.52参照。

映像再生中に、設定したキーを押すと、イン点がとれます。再度押すとアウト点がとれます。最初にスポッティングを大まかにとり、後で微調整 (P.15 参照) する時に便利です。



## 《スポッティングの調整と移動／トラックBにスポッティングをとる》

### ○スポッティングの調整について

イン点またはアウト点の調整方法は3つあります。

- ①マウスカーソルを音声波形上のイン点またはアウト点のあたりに移動して、カーソルの表示が双方向矢印の形に変わったらドラッグします。
- ②スポッティングがアクティブになっている時に、Homeキーを押すとビデオカーソルがイン点へ移動します。またはEnd キーを押すとビデオカーソルがアウト点へ移動します。次に、Shift キーを押しながら左右方向キーを押します。
- ③正しいタイムコードを [インタイムインジケータ]、[アウトタイムインジケータ]、または [デュレーションインジケータ] へ直接入力し、Enter を押します。

### ○スポッティング（現字幕）を移動する方法

マウスカーソルで音声波形上のスポッティングをクリックし、Ctrl キーを押すと、マウスカーソルが四方向矢印の形に変わります。Ctrl キーを押しながらマウスを左右に動かすと、デュレーションを変えずに字幕を移動することができます。

### ○トラック B にスポッティングをとる（画面上の2ヶ所に字幕を出す場合）

トラック A とトラック B を利用し、画面上の2ヶ所に字幕を題します。メインは A トラックです。

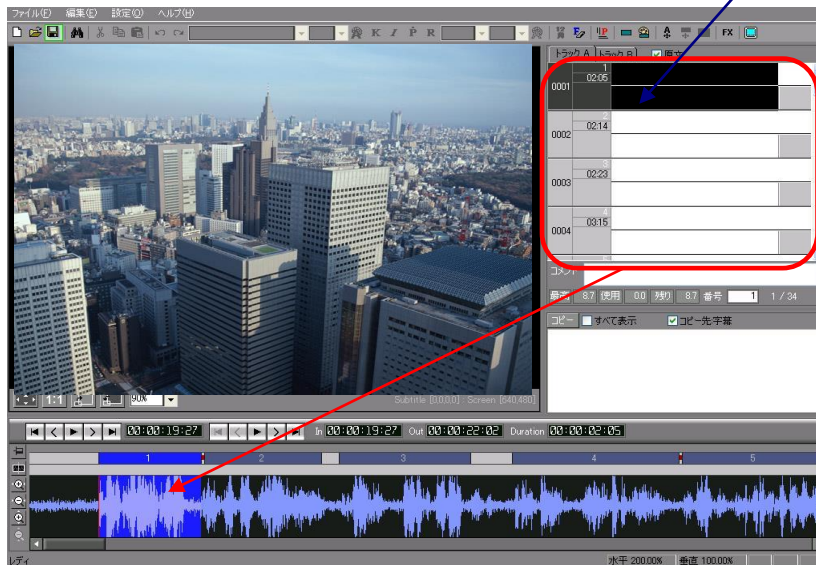
1. [トラック B タブ] をクリックして、トラック B をアクティブにします。

2. トラック A の背景がグレーになります。

スポッティングをとると、テキストウィンドウに字幕ウィンドウができます。

### 《字幕の入力》

スポッティングをとったら字幕を入力します。

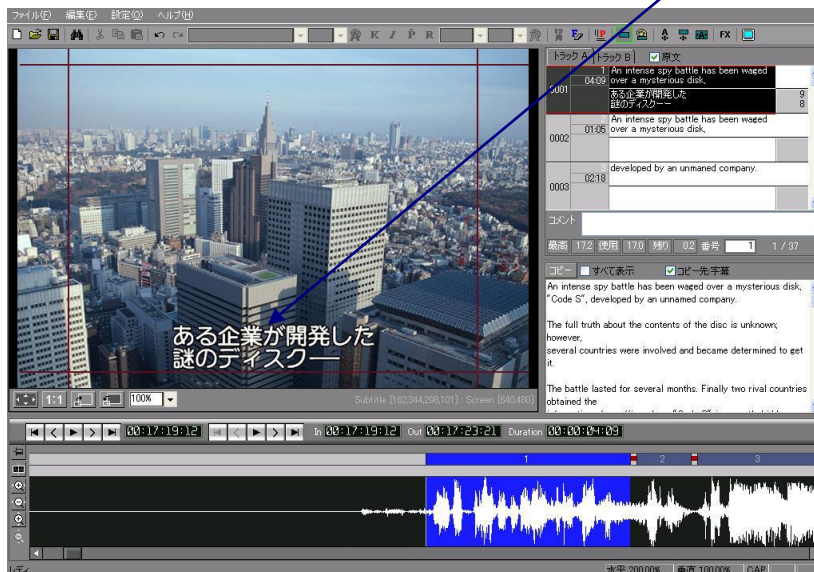


1. テキストウィンドウに字幕ウィンドウができていることを確認し、文字を入力します。



2. 字幕ウィンドウに文字を入力し、スペースキーで変換します。





3. Enter キーを押すとビデオウィンドウに反映されます。

### ○テキストウィンドウの拡大図

インデックス番号	字幕番号	デュレーション	コメント P.24	原文ウィンドウ P.22	字幕ウィンドウ	文字数インジケータ
0001	1	04:09		An intense spy battle has been waged over a mysterious disk,	ある企業が開発した謎のディスク	9 / 8
0002	2	01:05		An intense spy battle has been waged over a mysterious disk, "Code S"	"コードS"	6
0003		02:18		developed by an unmanned company.	このディスクをめぐり	10

最高 17.2 使用 17.0 残り 0.2 番号 1 / 37

インジケータで次の情報を確認しながら、テキストを入力します。

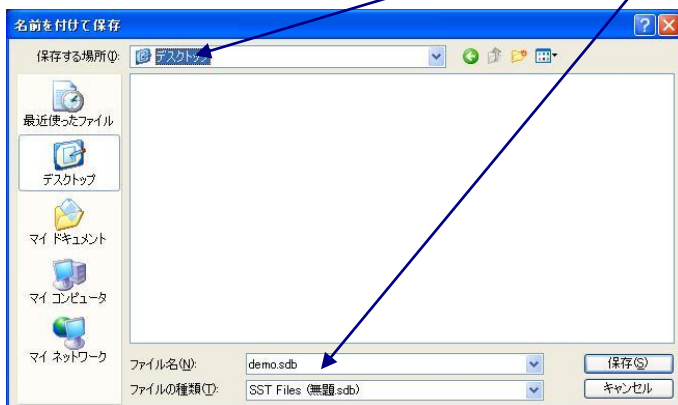
- ・ [最高文字数インジケータ]：使用できる文字数
- ・ [使用文字数インジケータ]：使用されている文字数
- ・ [残り文字数インジケータ]：使用できる残りの文字数
- ・ [番号]：現在アクティブになっている字幕番号

グレー部分の数字は、「現在の字幕番号／トータルの字幕枚数」を表します。

## 《作業中のプロジェクトファイルを保存する》

作業中の字幕データ (.sdb) を保存します。

1. [ファイル] メニューの [名前を付けて保存] をクリックします。




2. ファイル名と保存先を指定します。



3. プロジェクトファイル (.sdb) が保存されました。

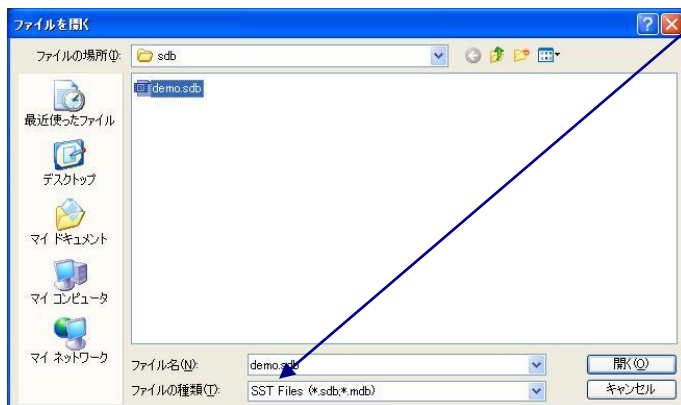
## ○上書き保存

[ファイル] メニューの [上書き保存] を選択するか、ツールバーの  をクリックしてください。作業中はこまめに上書き保存することをお勧めします。

## 《既存のプロジェクトファイル (.sdb) を開く》

名前のついたプロジェクトファイルを開きます。

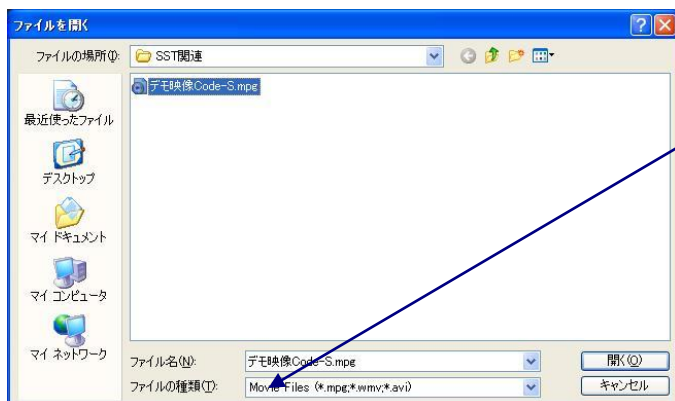
1. [ファイル] メニューから [プロジェクトファイルを開く] をクリックするか、ツールバーの [開く] ボタンをクリックします。



2. プロジェクトファイル (.sdb) を選択し、[開く] をクリックします。



3. 「映像ファイルを開きますか?」というメッセージが表示されます。  
[はい] をクリックします。



4. [はい] を選択した場合、映像ファイルを選択します。  
[いいえ] を選択した場合は、字幕データとスポッティングデータのみ反映されます。

○映像データ・字幕データ・スポッティングデータが取り込まれます。



SST G1 Liteが起動してなくても、sdbファイルをダブルクリックするだけでSST G1 Liteが立ち上がり、字幕データとスポッティングデータが読み込まれます。起動後、映像を取り込む時は、[ファイル]メニューから[映像ファイルを開く]を選択してください。

○プロジェクトファイルで使用されているフォントがインストールされていない場合、下記のメッセージが表示されます。



**《復旧されたプロジェクトファイルを開く》**

プロジェクト ファイル が開いた状態で SST G1 Lite が正しく終了されなかった場合、次回 SST G1 Lite を開始すると、下記のようなメッセージが表示されます。[はい]を選択し、保存場所を指定すると sdb ファイルとして保存することができます。

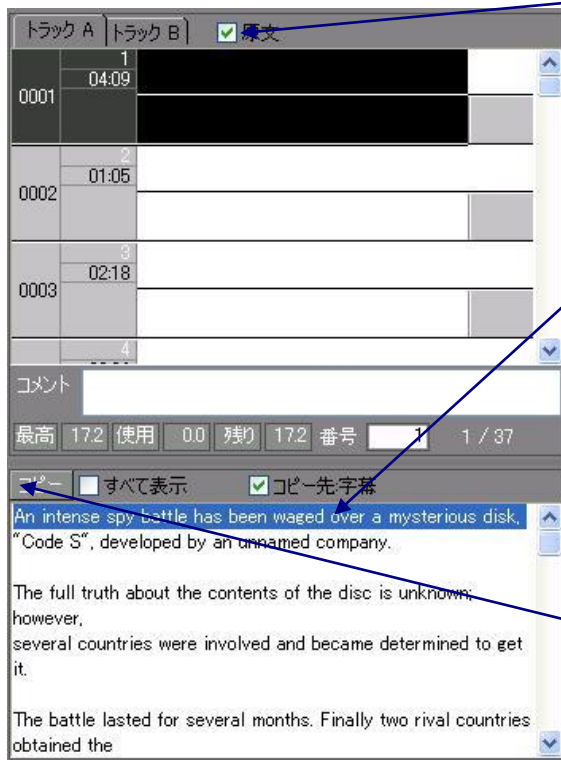


### 原文ウィンドウと台本ウィンドウについて

#### 《ハコ割り》

ハコ割りとは、台本を字幕ごとに分割することで、[台本ウィンドウ]で選択したテキストを[原文ウィンドウ]へ移動します。

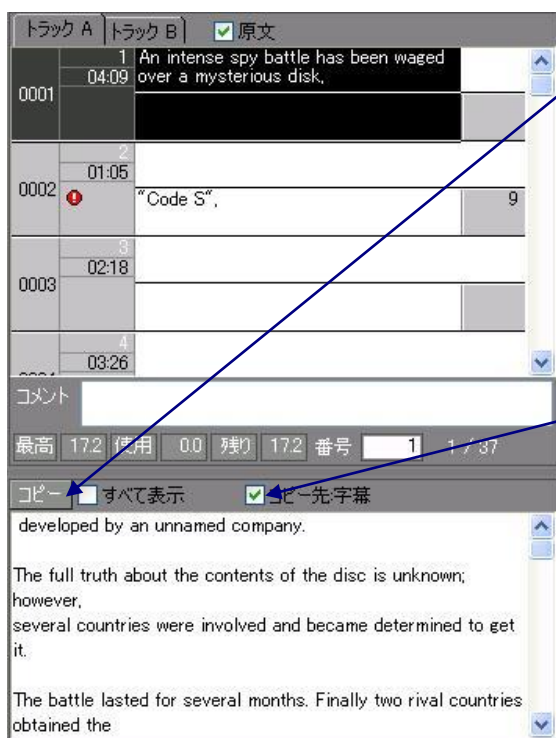
台本のインポート方法は、P.54 を参照ください。



1. [原文]にチェックを入れると原文ウィンドウが表示されます。

2. 任意の原文ウィンドウにカーソルを合わせた後、[台本ウィンドウ]のコピーしたいテキストを選択します。

3. [コピー]ボタンをクリックすると、原文ウィンドウにテキストが貼り付けされます。この場合、台本はウィンドウから切り取られます。



[すべて表示]にチェックを入れると、台本全体が再表示されます。チェックを入れたまま、コピーすることも可能です。この場合は、台本ウィンドウから切り取られません。

[コピー先:字幕]にチェックを入れると、字幕ウィンドウにテキストが貼り付けされます。




## 便利機能

### 《全画面表示》

主にプレビューする時に使用します。




ツールバーの[全画面表示]  をクリックするとビデオウィンドウが全画面表示されます。

映像再生中にこの操作はできません。

セーフティマーカーを消す場合は、[ユーザー設定]の[画面表示]で[セーフティエリアを表示する]の  
の  
チェックを外します。



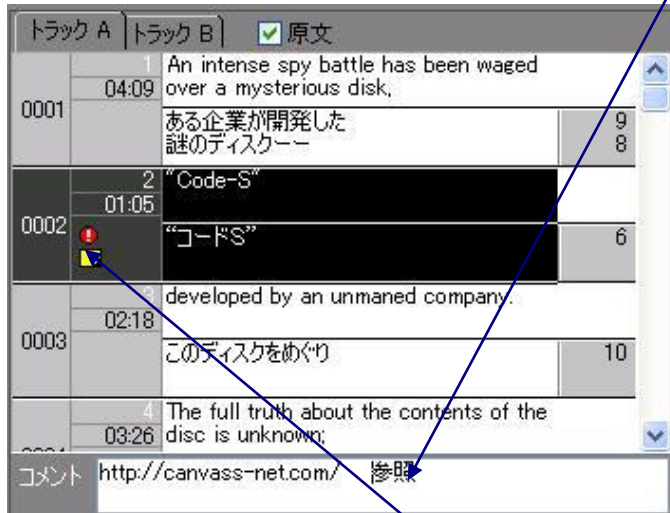
ビデオコントローラーは、この  をクリックすると消えます。

コントロールバーを消した状態で左クリックするとコントロールバーが表れます。

×をクリックすると元の操作画面に戻ります。

## 《コメント機能》

現字幕にコメント(申し送り)をつけることができます。



1. コメントを付けたい字幕ウィンドウを選択し、コメントを入力します。

2. コメントを付けた字幕には、このように黄色いレターマークが表示されます。

- ・ コメント欄の文字を消すと、レターマークも消えます。
- ・ コメント欄の内容を Excel に出力することができます。  
P.57 の見直し用リスト (Excel) のエクスポートを参照ください。



## 音声波形ウィンドウ上で編集

### 《現字幕を画面の中央に移動する》

スポッティングの表示位置を画面の端から中央に移動したい時に使用します。



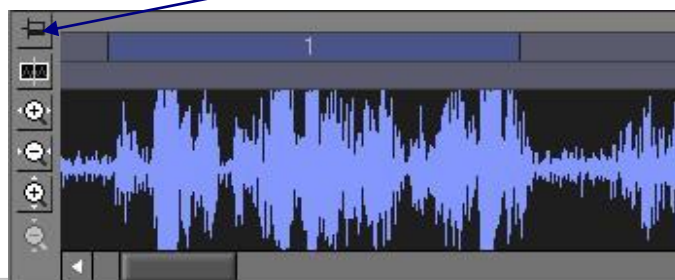
移動したいスポッティングにカーソルをおき、右クリックして[中央へ移動]を選択します。



このアイコンをクリックして中央へ移動することもできます。

### 《編集をロックする》

編集中のスポッティングが調整できないようロックします。



このアイコンをクリックすると編集がロックされます。スポッティングをとったり、微調整をすることができません。

### 《字幕の分割》

長いスポッティングを2つに分ける場合に使用します。



1. スポッティングの分割したい場所にカーソルを合わせ、右クリックして[分割]を選択します。  
分割した位置が、次の字幕のイン点になります。



2. 原文と字幕は、前後同じものが表示されますので、それぞれ余分なテキストを削除します。

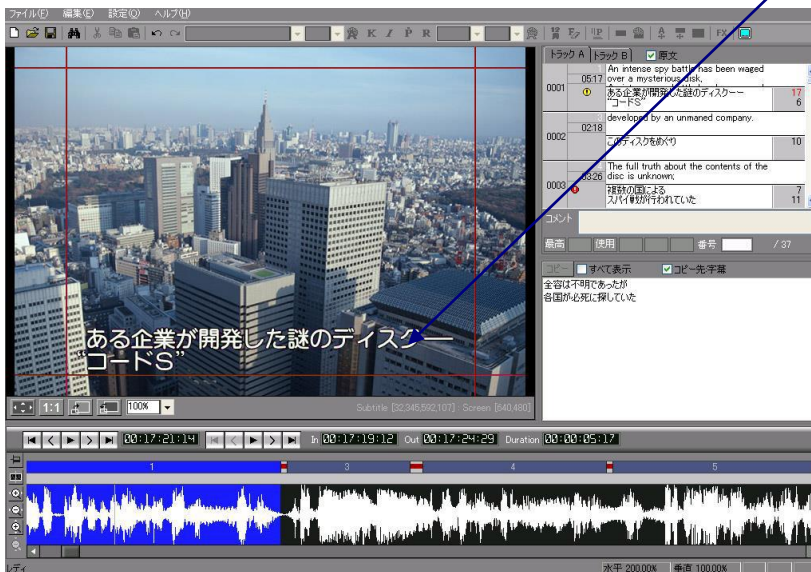
分割後の後ろの字幕番号は、前の字幕番号の枝番になります。

### 《字幕の結合》

2つのスポッティングを結合し、1つにします。



1. 結合したい2つのスポッティングの「前の」スポッティングにカーソルをおき、右クリックして[後ろに存在する字幕と結合]を選択します。



2. 前後の原文と字幕が2行になって表示されます。  
(前の字幕が1行目、後ろの字幕が2行目)

結合後、後ろの字幕番号は消去されます。

## 《現字幕の削除》

スポッティングを削除します。



1. 削除したいスポッティングを右クリックして、[削除]を選択します。

キーボードの[Delete]でも削除できます。



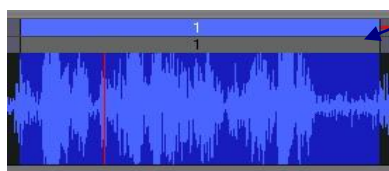
2. [はい] をクリックします。

## 《Bトラックにコピーする》

Aトラックと同じタイミングのスポッティングを B トラックにコピーします。その逆も可能です。



1. コピーしたいスポッティングにカーソルをおきます。右クリックして[Bトラックにコピー]を選択します。



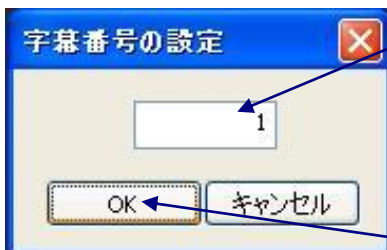
2. コピーされました。この場合、字幕テキストもコピーされます。字幕が重なって見えるので、どちらかの字幕を削除または変更してください。

## 《字幕番号の設定》

現字幕に任意の番号または文字列を設定します。



1. 字幕番号を設定したい  
スポッティングにカーソルを  
おき、右クリックして[字幕番  
号の設定]を選択します。



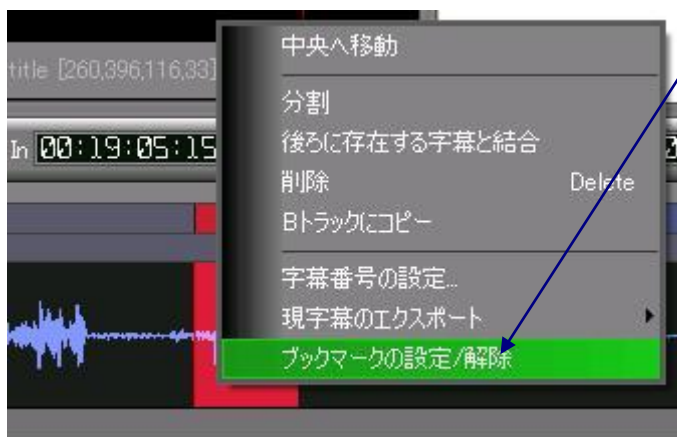
2. 字幕番号または文字列を  
入力します。

3. [OK]をクリックします。

### 《ブックマークの設定／解除》

指定したタイムコードにブックマークをつけることができます。

1. ブックマークを付けたい（または、解除したい）音声波形上にカーソルを置きます。



2. [ブックマークの設定／解除]を選択します。P.62 参照。

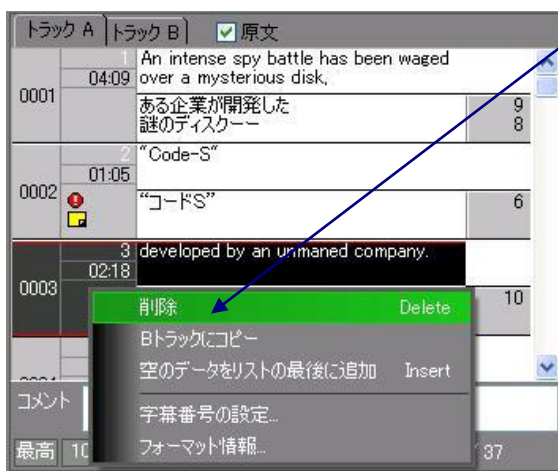


## 字幕ウィンドウ上で編集

字幕ウィンドウの編集機能は、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら、複数の字幕ウィンドウを選択すると一括変更できます。

⚠ フォーマット情報で個別に設定を変えるためには、高等編集オプションが必要になります。  
(フォントの種類、フォント・エッジの色、フォント・エッジのサイズ、カーニング・レディング、マスク、フェードはオプションです。)

### 《字幕を削除する》

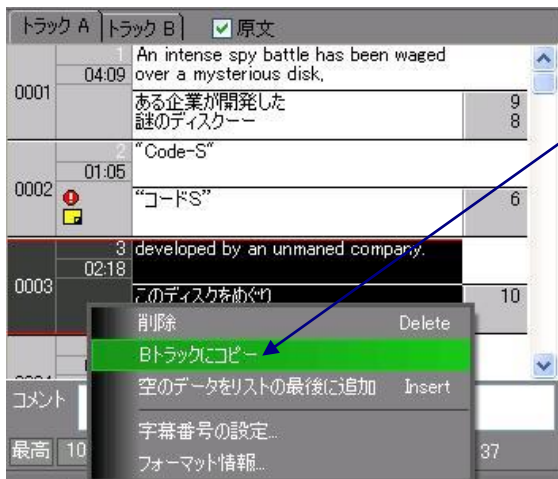


1. 削除したい字幕ウィンドウを右クリックして、[削除]を選択します。



2. [はい] をクリックします。

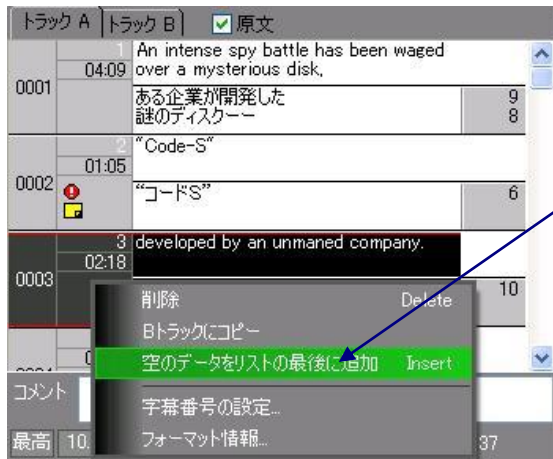
### 《Bトラックにコピーする》



コピーしたい字幕ウィンドウを右クリックして、[Bトラックにコピー]を選択します。字幕が重なって見えるので、どちらかの字幕を削除または変更してください。

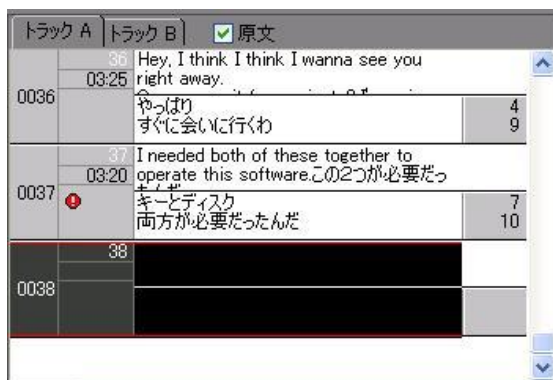
### 《空のデータをリストの最後に追加》

先にスポッティングをとらずに空の字幕ウィンドウを作り、後からスポッティングをとる時に使用します。



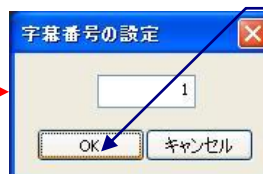
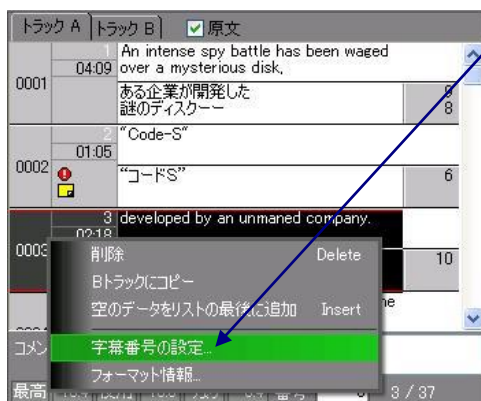
字幕ウィンドウを右クリックして、[空のデータをリストの最後に追加]を選択します。

字幕ウィンドウをアクティブにしたまま、Insert キーを押すだけでも空ボックスができます。



### 《字幕番号の設定》

現字幕に任意の番号または文字列を設定します。

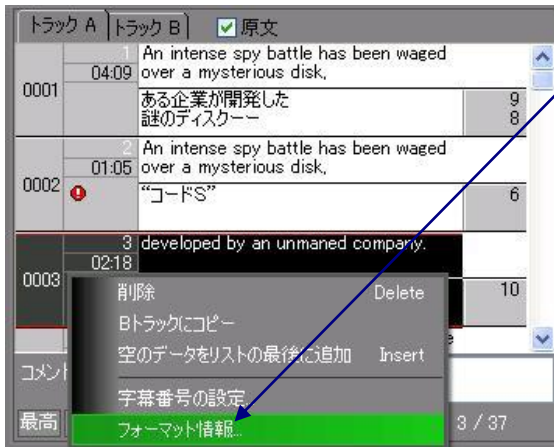


1. 字幕番号を設定したい字幕ウィンドウ、を右クリックして、[字幕番号の設定]を選択します。

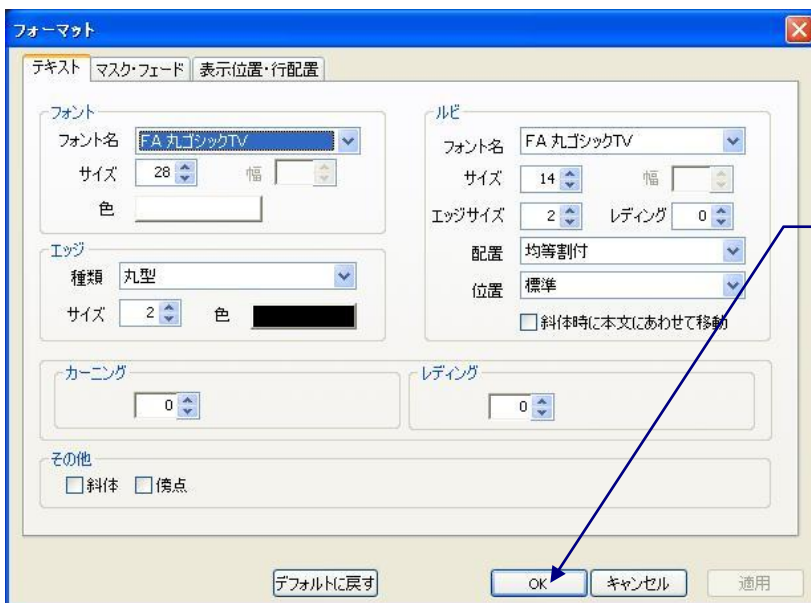
2. 任意の番号または文字列を入力して、[OK]をクリックします。



### 《フォーマット情報》



1. 字幕ウィンドウを右クリックして、[フォーマット情報]を選択します。

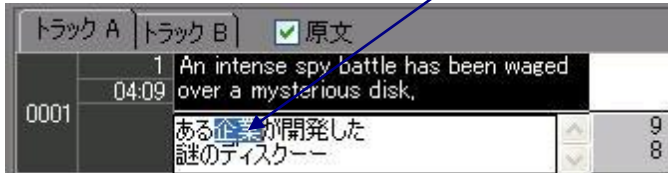


2. 設定が終わったら、[OK]をクリックします。詳細は、P.68～69 参照。

- ⚠**下記の項目はオプションになります。
- ・フォントの種類
  - ・フォント・エッジのサイズ
  - ・フォント・エッジの色
  - ・カーニング・レディング
  - ・マスク・フェード
  - ・文字の自由位置

### エフェクト

#### 《ルビ》



1. ルビを振りたい文字を選択し、ツールバーの **R** をクリックします。



2. ルビを入力します。

必要があれば、各種設定を行います。詳細は P.68 参照。個別設定はオプションになります。

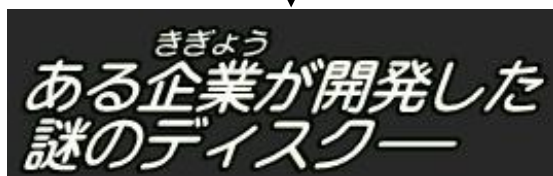
3. [OK] をクリックします。



## 《イタリック（斜体）》



イタリックにしたい文字を選択し、ツールバーの **I** をクリックします。



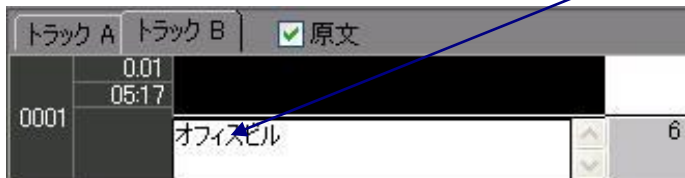
## 《傍点（強調点）》



傍点を振りたい文字を選択し、ツールバーの **P** をクリックします。



### 《表示位置・行配置（ポジション）》

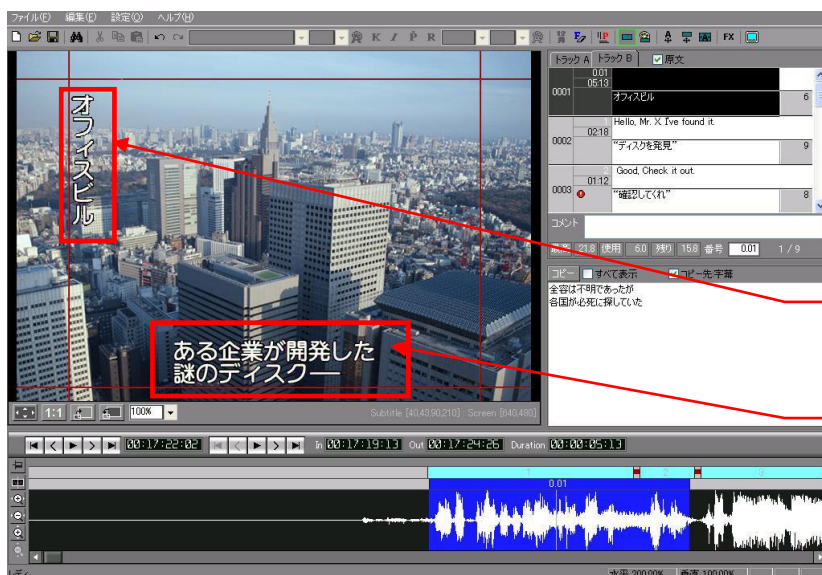


1. ポジションを変更したい字幕ウィンドウをアクティブにし、ツールバーの「IP」をクリックします。



2. 表示位置・行配置を選択します。

3. [OK]をクリックします。

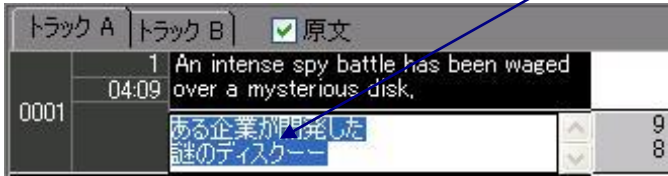


このように、表示位置を変えることで、AトラックとBトラックの2つの字幕が同時に表示できます。

トラック B

トラック A

## 《フォント及びエッジの種類、サイズの設定》



1. サイズやエッジの種類を変えたい文字を選択します。

・フォントの種類、サイズを変える



2. ツールバーからそれぞれを選択します。

・エッジの種類、サイズを変える



エッジの種類は、丸型・角型・シャドウから選べます。

○エッジイメージ

・丸型



・角型





・シャドウ



## 《フォント・エッジの色の設定》



1. 色を変えたい文字を選択し、文字色を変える場合は、ツールバーの  をクリック、エッジの色を変える場合は、 をクリックします。

2. 色を選択します。P.38 参照。



この画面上の色をクリックして、好みの色を作ることができます。もしくは、R・G・Bの数値でも色を指定できます。

作成した色を保存することができます。

3. [OK]をクリックします。

## 《カーニング・レディング》

カーニングは文字と文字の間隔（文字間）、レディングは字幕の行と行の間隔（行間）のことを指し、この機能でそれぞれの間隔を調整することができます。



1. 調整したい文字を選択し、ツールバーの **K** を選択します。



2. それぞれ数値を入力します。数値を大きくすると間隔が広く、小さくすると狭くなります。マイナス値の入力も可能です。



## 《文字の自由位置》

ベースラインで決められた位置以外に手動で自由に字幕を配置することができます。



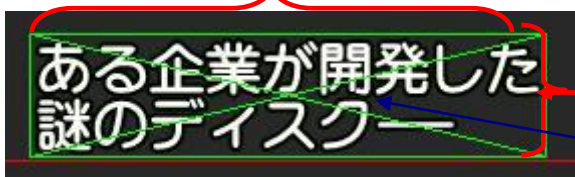
1. 移動させたい字幕ウィンドウを選択し、ツールバーの **A** をクリックします。もしくは、ビデオウィンドウ上に表示された文字を直接クリックします。

・ビデオウィンドウ右下の座標軸の表示（ピクセル単位）



座標軸の見方（左からの数値の説明）

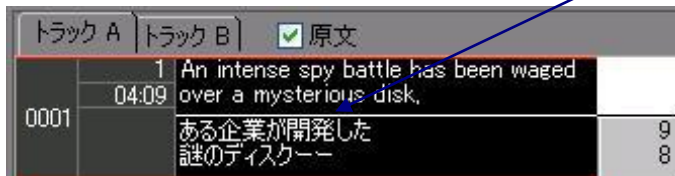
- ・ 223 : 画面の一番左からの距離
- ・ 121 : 画面の一番上からの距離
- ・ 187 : 字幕の横の長さ
- ・ 32 : 字幕の縦の長さ



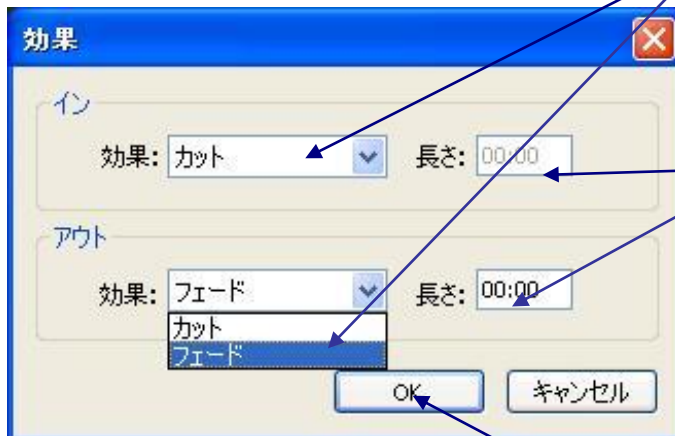
2. このような表示になったら、矢印キーもしくはマウスで移動させます。

## 《効果（フェードイン・フェードアウト）》

徐々に字幕が表示される効果（フェードイン）、徐々に字幕が消える効果（フェードアウト）です。効果の長さとは、字幕が画面上に完全に表示されてから完全に消えるまで（または、表示されていない状態から完全に表示されるまで）の時間です。



1. 効果を付けたい字幕ウィンドウを選択し、ツールバーの **FX** をクリックします。



2. リストから[フェード]を選択します。

3. 効果の長さをフレーム単位で入力します。デューレーションを超えた値は入力できません。

4. [OK]をクリックします。




## 《マスク（座布団）を作成する》


字幕の背後にマスク（座布団）をつけることができます。

※マスク（座布団）とは、字幕の背後の領域を塗りつぶすことです。



マスク（座布団）を付けたい字幕を選択し、ツールバーの  をクリックします。




マスク（座布団）の色を変更するには、ツールバーの  をクリックします。

アイコンをもう一度クリックすると、マスク（座布団）は外れます。


## 《マスク（座布団）の移動、またはサイズ変更を行う》



ツールバーの  をクリックすると、図のように緑の枠が表示されます。矢印キーやマウスで位置やサイズの変更ができます。

## 《字幕をマスク（座布団）内に中央揃えする》



ツールバーの  をクリックすると、図のようなメッセージが表示されるので、どちらかを選択します。

マスク（座布団）に合わせて、字幕が移動します。

字幕に合わせて、マスク（座布団）が移動します。

[OK]をクリックします。

## ファイルメニュー

### ユーザー設定

[ファイル] メニューの [ユーザー設定] をクリックします。

#### 《ガイドラインの設定》



#### a. 字幕

##### i. 文字数 (/秒)

このガイドラインにより、[最高文字数インジケータ]、[使用文字数インジケータ]、および[残り文字数インジケータ]に表示される数値が決定されます。このガイドラインの値を超えると、『テキストウィンドウ』に赤マークが表示されます。

[ルビも文字数に含む]のチェックボックスをオンにすると字幕数にルビの文字数も加えた数字になります。

##### ii. 文字数 (/行)

このガイドラインにより、[一行文字数インジケータ]に表示される数値が決定されます。

文字数が、このガイドラインの値を超えると、『テキストウィンドウ』に黄マークが表示されます。

#### b. タイムコード

##### i. 字幕表示時間

[警告]設定された長さ以下のスポッティングは、『音声波形ウィンドウ』に赤く表示されます。

[強制]に設定された長さ以下のスポッティングは作成できません。

## ii. 字幕の間隔

スポッティングとスポッティングの間隔が、[警告]された長さ以下だと赤いラインが表示されます。[強制]に設定された値より間隔を短くすることはできません。

最低間隔よりも短く間隔を設定するには、このガイドラインを調整する必要があります。ただし、再調整しても既存の字幕には影響はありません。

## c. 数値による選択方法

『フォーマット設定』の[範囲指定]、『字幕削除』、『字幕番号の振り直し』、『テキストウィンドウ』の[番号]に入力する数字を、「字幕番号」とするか「インデックス番号」とするかを選択します。

The screenshot shows the subtitle editor interface with a list of subtitles. The interface includes a track selection area (トラック A, トラック B) and a checked '原文' (Original) option. The subtitle list has columns for track, start time, end time, text, and duration. Red arrows point from labels to specific elements: 'インデックス' (Index) points to the subtitle ID '0002', '字幕番号' (Subtitle Number) points to the duration '6', and '一行あたりの文字数' (Number of characters per line) points to the text '“コードS”'. A blue arrow points from a text box to the '番号' (Number) input field in the bottom status bar, which contains the value '3'. The status bar also shows '最高 104 使用 100 残り 04 番号 3 / 37'.

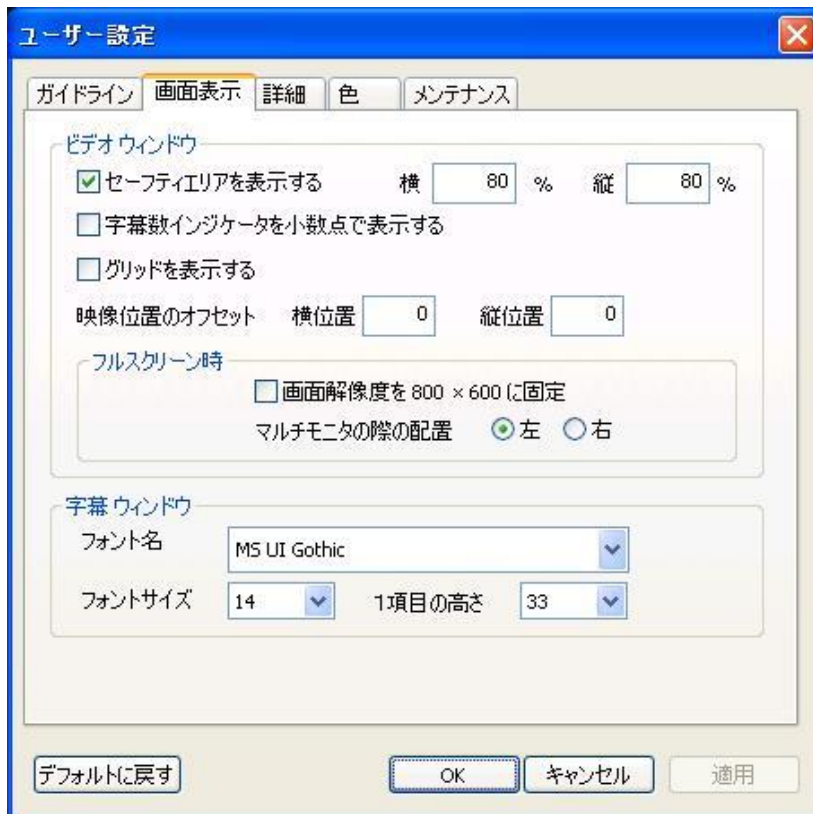
インデックス

字幕番号

一行あたりの文字数

[字幕番号]を指定した場合、字幕番号を入力すると、該当する字幕に移動します。  
[インデックス]を指定した場合はインデックス番号を入力してください。

## 《画面表示の設定》



## a. ビデオウィンドウ

## i. セーフティエリアを表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、セーフティエリアが『ビデオウィンドウ』上に赤線が表示されます。%の入力値によって、セーフティエリアの表示位置が決まります。SD の場合、一般的には 80% に設定されることがほとんどです。

## ii. 字幕数インジゲータを小数点で表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、『テキストウィンドウ』にある文字数インジゲータの数字が小数点まで表示されます。

## iii. グリッドを表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、『ビデオウィンドウ』上にグリッドが表示されます。

## iv. 映像のオフセットの設定

[横位置]と[縦位置]に数字を入力すると映像のオフセットができます。(エンコード時の水平・垂直の位置ずれを修正するのに使用します。エンコーダーの特性に合わせて調整してください。)

[横位置]: 数値を大きくすると右へ移動、マイナスの数値を入力すると左へ移動


[縦位置]: 数値を大きくすると下へ移動、マイナスの数値を入力すると上へ移動

## v. フルスクリーン時

- ・画面解像度を 800 × 600 に固定

このチェックボックスにチェックが入っている場合、全画面表示にした時の画面解像度を 800×600 に固定します。

- ・マルチモニタの際の配置

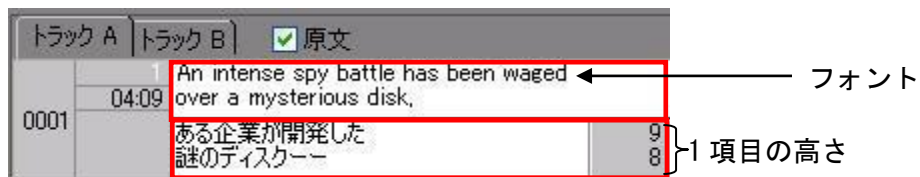
外部モニタを接続した場合、映像ウィンドウとテキストウィンドウを別々に表示できます。映像を左右のどちらに表示させるかを選択します。全画面表示ボタン  を押すと画面が映像とテキストウィンドウに分割されます。

## b. 字幕ウィンドウ

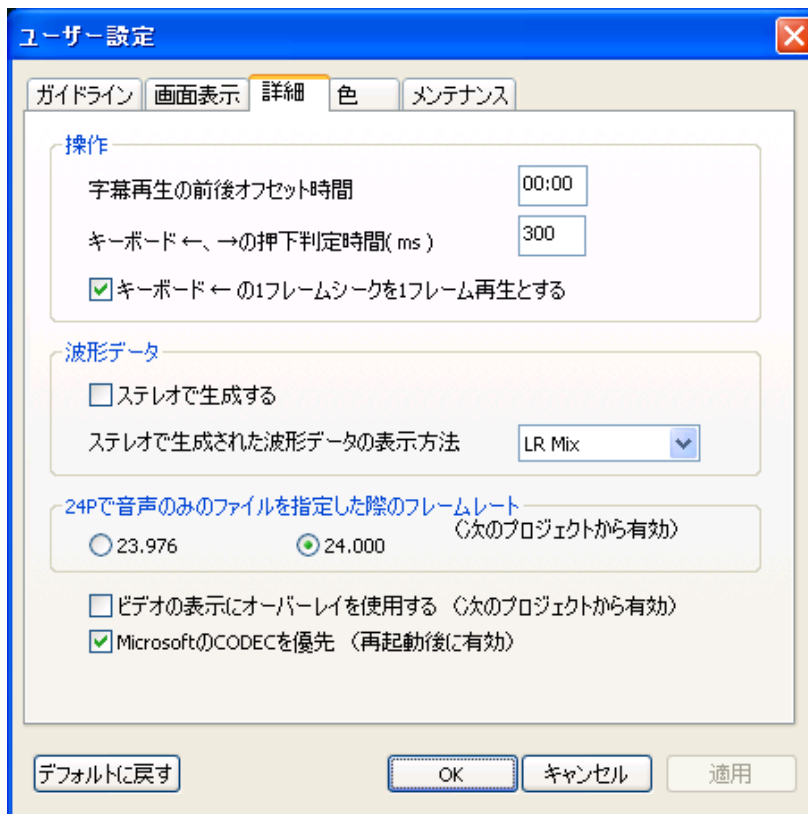
i. フォント名：『テキストウィンドウ』に表示されているフォントの種類を指定することができます。

ii. フォントサイズ：『テキストウィンドウ』に表示されているフォントサイズを指定することができます。

iii. 1 項目の高さ：『テキストウィンドウ』に表示される『字幕ウィンドウ』、『原文ウィンドウ』、『コメント欄』の入力枠の高さを指定することができます。



## 《詳細の設定》



## a. 操作

## i. 字幕再生の前後オフセット時間

スポットニング領域内を繰り返し再生する場合、設定したフレーム分前から再生し、設定したフレーム分後で停止します。

## ii. キーボード←、→の押下判定時間 (ms)

←、→の矢印キーを長押し再生する場合の判定時間を設定します。

300 は 0.3 秒です。数値が大きくなると反応が遅くなります。

## iii. キーボード←の 1 フレームシークを 1 フレーム再生とする

チェックを外すと、←矢印キー（1 フレーム巻き戻し）を押した時に音が出なくなります。

長押し再生の場合は、チェックの有無にかかわらず音は出ません。

## b. 波形データ

音声をステレオもしくは L/R のどちらか片チャンネルを選択できる機能です。

新規の映像を取り込む前に [ステレオで生成する] にチェックを入れて波形を生成すると、後で

波形の表示を「L Only」又は「R Only」に切りかえることができます。

[ステレオで生成する] のチェックを入れずに波形を生成した場合は L/R の切りかえができません。



## c. 24Pで音声のみのファイルを指定した際のフレームレート

映像が無く音声のみの24Pファイルでスポットティング作業をする場合、あらかじめ[23.976]か[24.000]のいずれかを指定してください。

## d. ビデオの表示にオーバーレイを使用する

オーバーレイに対応していないパソコンを使用している場合、オーバーレイに依存しない処理方法を選択できる機能です。



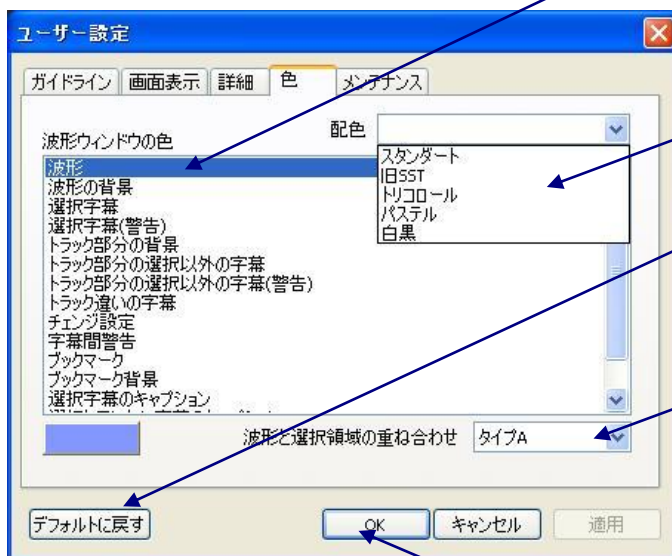
- ・WMV ファイルではこの機能を使用できません。
- ・この処理方法は高いマシンスペックを要求しますので、オーバーレイに対応しているパソコンでは従来のオーバーレイ機能を使用してください。

## e. Microsoft の CODEC を優先

波形生成、映像再生等の不具合があった場合にはチェックを外してみてください。

## 《色の設定》

メニューに表示されている項目に関して、色の選択ができます。



1. 色を変更したい項目をクリックします。

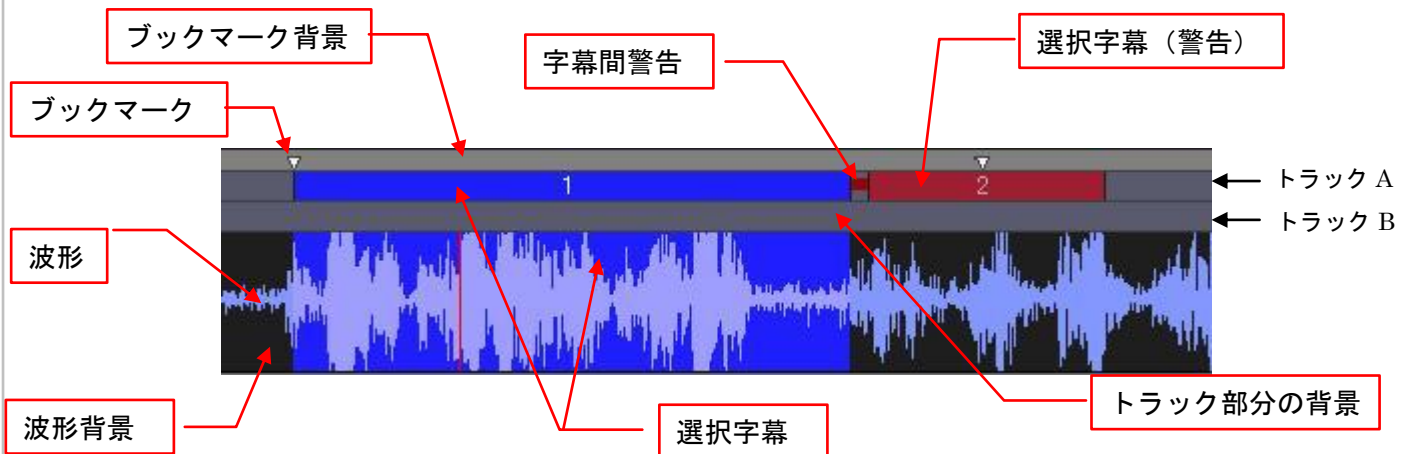
配色パターンを選択できます。

2. 色を選択します。

重ね合わせのタイプを選びます。

3. [OK]をクリックします。

## a. 波形ウィンドウの色



- i. トラック部分の選択以外の字幕：現字幕以外のトラック色。
- ii. トラック部分の選択以外の字幕（警告）：警告が出ている字幕が選択されていない時のトラック色。
- iii. トラック違いの字幕：トラック A 選択時のトラック B の色。もしくはその逆。
- iv. チェンジ設定：字幕間が 0 の時の字幕と字幕の間のトラック色。ただし、音声波形の幅が水平 200%以上でないと見えません。

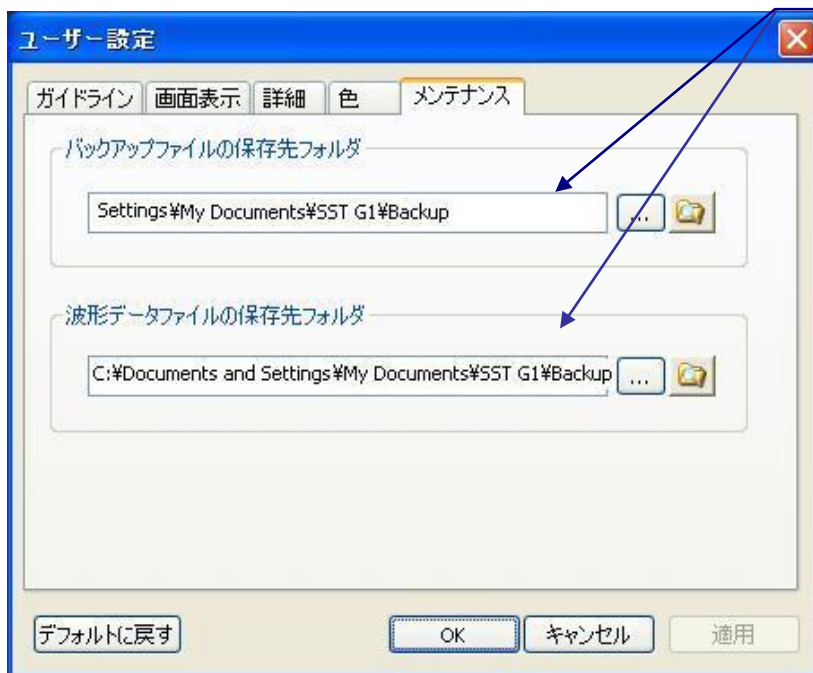
音声波形の右下の数値を参照してください。

水平 200.00% 垂直 100.00% SCRL

## b. 波形と選択領域の重ね合わせ

『音声波形ウィンドウ』にスポッティング領域を表示させる際に、波形の背景・波形の色とスポッティング領域の色の合成方法を 3 パターンから選択できます。

## 《メンテナンスの設定》




エクスプローラーを開き、消  
したいものを削除します。


不要になったバックアップフ  
ァイルは定期的に消去するこ  
とをお勧めします。

## a. バックアップファイルの保存先フォルダ

## i. バックアップファイルの消去


 [エクスプローラーを開く]ボタンをクリックし、バックアップファイル (.sdb) が保存さ  
れているフォルダより削除できます。

## ii. バックアップファイルの保存先


 パスを指定するとバックアップファイルの保存先を指定することができます。

## b. 波形データファイルの保存先フォルダ

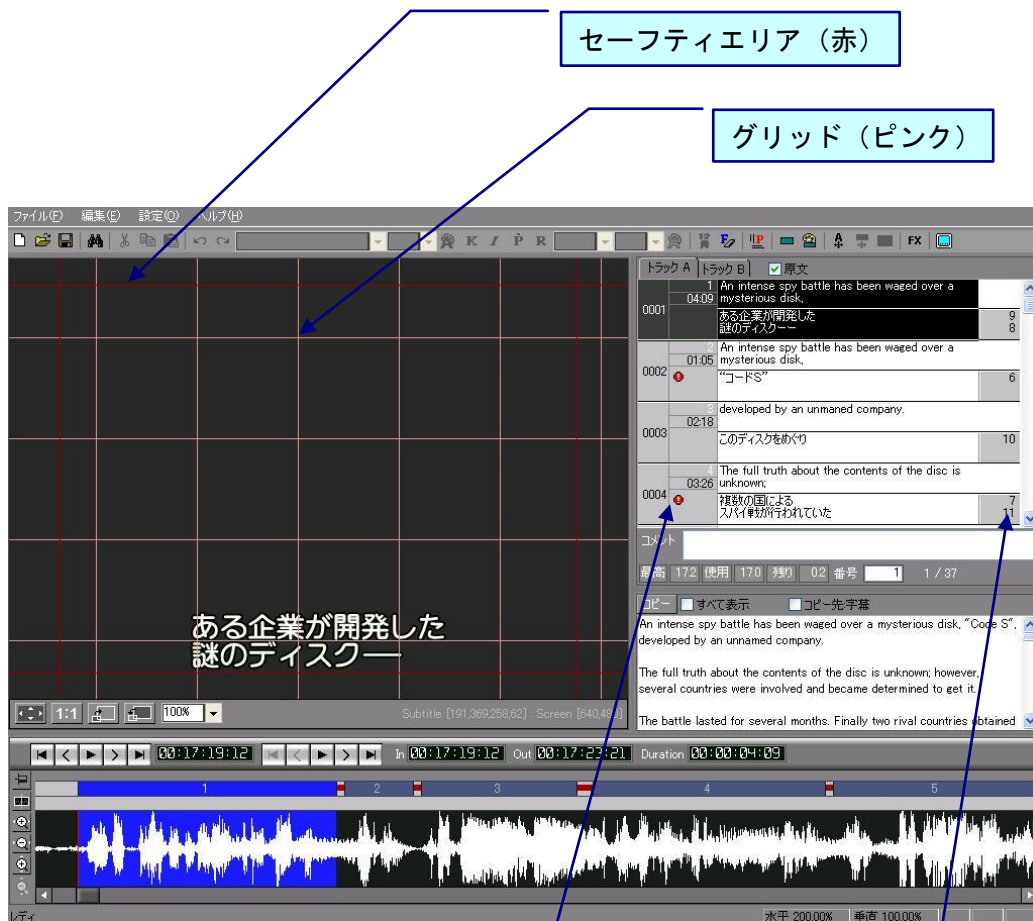
## i. 音声波形データファイルの消去

 [エクスプローラーを開く]ボタンをクリックし、音声波形データファイル (.WAV) が保  
存されているフォルダより削除できます。

## ii. 音声波形データの保存先

 パスを指定すると音声波形データファイルの保存先を指定することができます。

### ○表示の説明



セーフティエリア (赤)

グリッド (ピンク)

警告マーク  
赤：文字数 (／秒)  
黄：文字数 (／行)

ガイドラインで設定した文字数 (／行) を超過すると赤字になります。

### 《ショートカットキーの設定》

1. [ファイル] メニューの [ショートカットキー設定] をクリックします。



2. [ショートカットキー設定] 画面にあるプルダウンリストよりカテゴリーを選択します。



3. 選択したカテゴリーのリストから設定する項目を選択します。

4. 現状のショートカットキーが表示されますが、登録が無い場合は空白です。設定したいキーを押すとボックス内に反映されます。

5. ショートカットキーを変更する、または新規登録する場合は、[ショートカットキー] のボックス内に新しいキーを入力し、[設定] ボタンをクリックします。



6. ショートカットキーを有効にするためには、SST G1 Lite を再起動してください。

## 《ショートカットキーをデフォルトに戻す/削除する》



すべてのショートカットキーをデフォルトの状態に戻す場合は[デフォルトに戻す]ボタンをクリックします。

ショートカットキーを削除する場合は[削除]ボタンをクリックします。

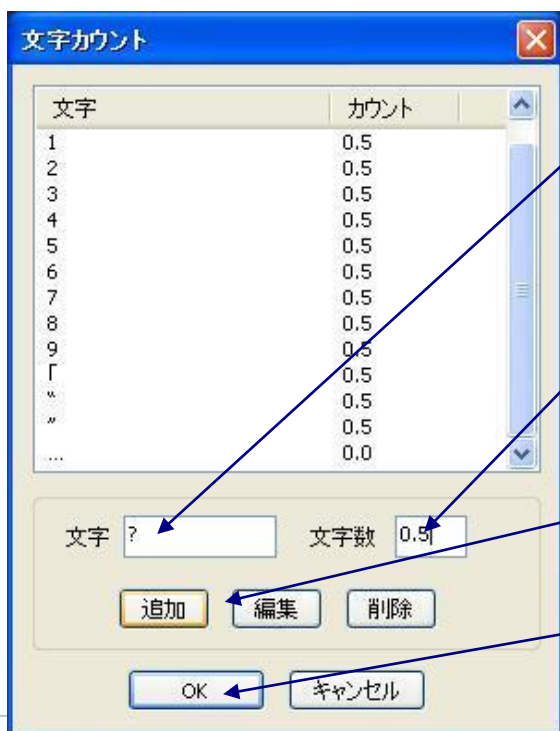
[OK]をクリックします。

SST G1 Lite を再起動してください。

## 《文字カウント》

字幕の使用文字数のカウント方法を文字ごとに設定できます。

1. [ファイル] メニューの [文字カウント] をクリックします。



2. 新規登録したい文字を入力するか、変更したい文字をリストから選択します。

3. カウント数を入力します。

4. 新規登録の場合は[追加]を、変更の場合は[編集]、削除する場合は[削除]をクリックします。

5. [OK]をクリックします。

### 《データファイルのインポート》

SST G1 Lite は下記のフォーマットをインポートすることができます。映像ファイルが開かずに、フォーマットだけインポートする場合は、[ファイル]メニュー→[新規]→[映像ファイルも開きますか?]→[いいえ]にしてからインポートしてください。

- ・ SST プロジェクト
- ・ 台本(.txt)
- ・ 見直し用リスト (Excel) ファイル

### 《SSTプロジェクトファイル》


1つの映像を複数に分割して作成し、最後にすべてのファイルを合体させる時に使用します。下記の手順に従って、SST プロジェクトファイルをインポートすることができます。

1. [ファイル] メニューの [インポート] をクリックし、[SSTプロジェクト]をクリックします。
2. 『SSTプロジェクトファイルのインポート』ダイアログボックスで、[インポートファイル(.sdb)]を選択します。
3. [OK]をクリックします。

 映像ファイルを開いている場合、タイムコードの設定は事前に済ませてください。

### 《台本》

台本 (スクリプト) がある場合は、下記の手順に従って台本ウィンドウにインポートすることができます。インポートできるフォーマットはテキストファイル (.txt) です。

1. [ファイル] メニューの [インポート] をクリックし、メニューより[台本] を選択します。
2.  パスをクリックし、台本ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
3. [詳細設定]の[エンコード種類]をプルダウンリストより選択します。

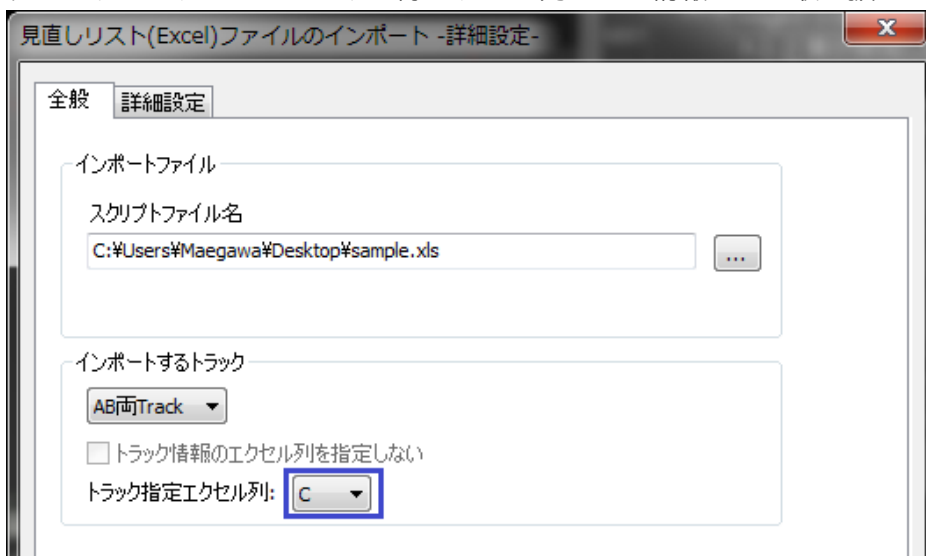
日本語・英語以外の台本をインポートする時は、[UTF8]か[UTF16]を選択します。

4. [OK]をクリックするとインポートが終了し、台本ウィンドウに反映されます。

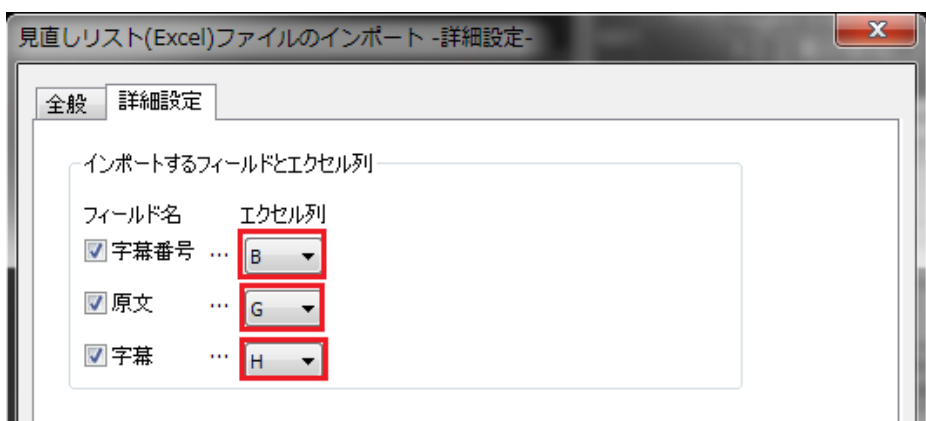


## 《見直し用リスト (Excel) ファイル》

エクセルの見直し用リストは、エクスポート時の出力項目の設定により各情報の出力される列が変化しますので、インポートする際に、どの列をどの情報として取り扱うのか指定します。



【画面①】



【画面②】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	No.	字幕番号	トラック	表示開始時間	表示終了時間	表示時間	原文	字幕	文字数	斜作
2	1	1	A	00:17:19:11	00:17:23:21	00:00:04:10	An intense spy battle has been	ある企業が開発した	9	
3	2	2	A	00:17:23:24	00:17:24:29	00:00:01:05	An intense spy battle has been	謎のディスク	8	
4	3	3	A	00:17:25:01	00:17:27:20	00:00:02:19	developed by an unmanned co	コードS”	6	
5	4	4	A	00:17:27:26	00:17:31:22	00:00:03:26	The full truth about the comp	このディスクをめぐり	10	
6	5	5	A	00:17:31:26	00:17:37:02	00:00:05:06	however, several countries	複数の国による	7	
7	6	6	A	00:17:37:15	00:17:40:04	00:00:02:19	The battle lasted for severa	スパイ戦が行われていた	11	
								however, several countries	13	
								however, several countries	11	
								however, several countries	11	
								however, several countries	10	

画面①、画面②の設定に従って、上記赤枠の列のみインポートされます。

読み込む列の指定を変更することで、原文と字幕を入替えたり、他の列に入力した別言語の翻訳テキストをインポートすることも可能です。

※上記のエクセル画面は、見直し用リストで全項目出力した際の配列です。

※エクセルの仕様に従い、見直し用リスト (エクセル) をエクスポートする際は、ルビは

「ひらがな」もしくは「カタカナ」の何れかに統一して出力されますのでご注意ください。

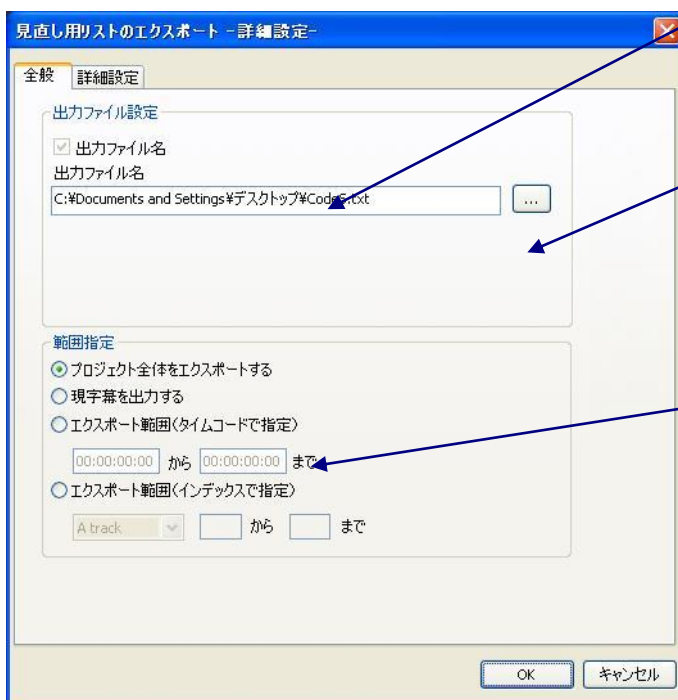
※画面②でチェックをつけた列のみインポートされます。従って、チェックをつけていない列にエクセル上で変更を加えてインポートしても、変更内容は SST 上に反映されません。

## 《データファイルのエクスポート》

### 《見直し用リスト (TXT) 》

1. [ファイル] メニューの [エクスポート] をクリックし、メニューより [見直し用リスト (TXT)] を選択します。

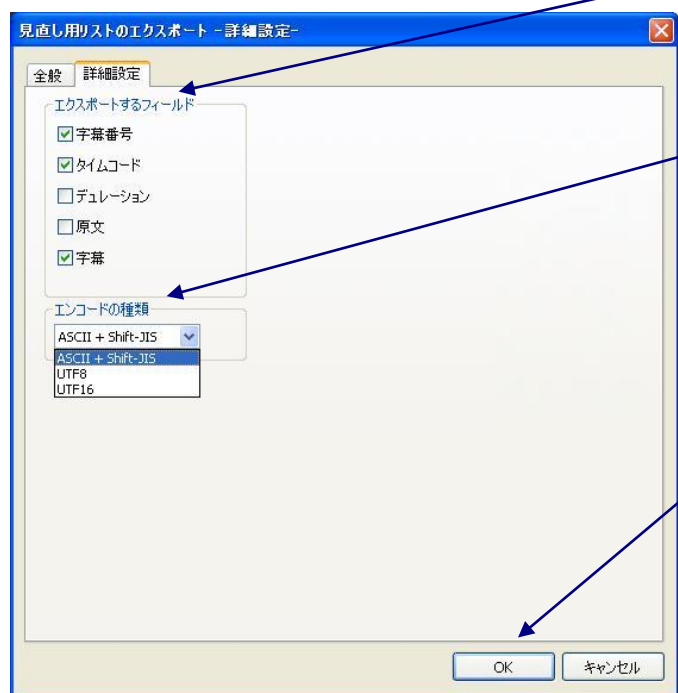
・詳細を設定します。



2. 自動的に表示されます。

ファイル名と保存先を変更する場合は、このボタンをクリックして入力します。

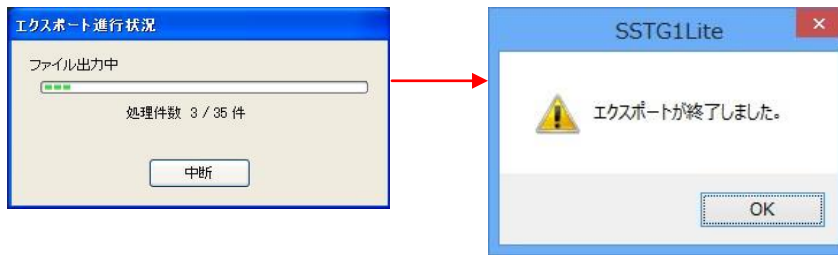
3. 出力範囲を指定します。



4. エクスポートするフィールドにチェックを入れます。

5. [エンコード種類]をプルダウンリストより選択します。日本語・英語以外の言語をエクスポートする場合は、[UTF8]または[UTF16]を選択してください。

6. [OK]をクリックします。



図のようなメッセージが表示された後、エクスポートが終了します。

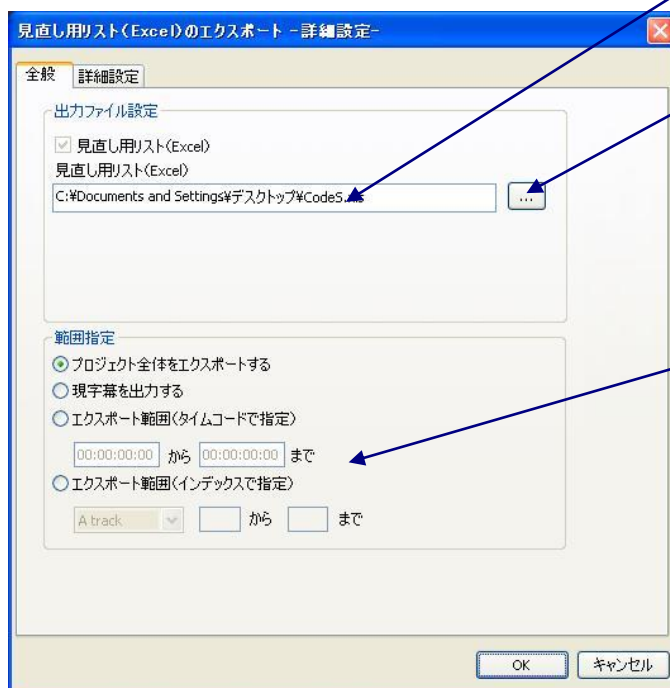
## ○エクスポートしたテキストデータの例



## 《見直し用リスト (Excel) 》

1. [ファイル] メニューの [エクスポート] をクリックし、メニューより [見直し用リスト (Excel)] を選択します。

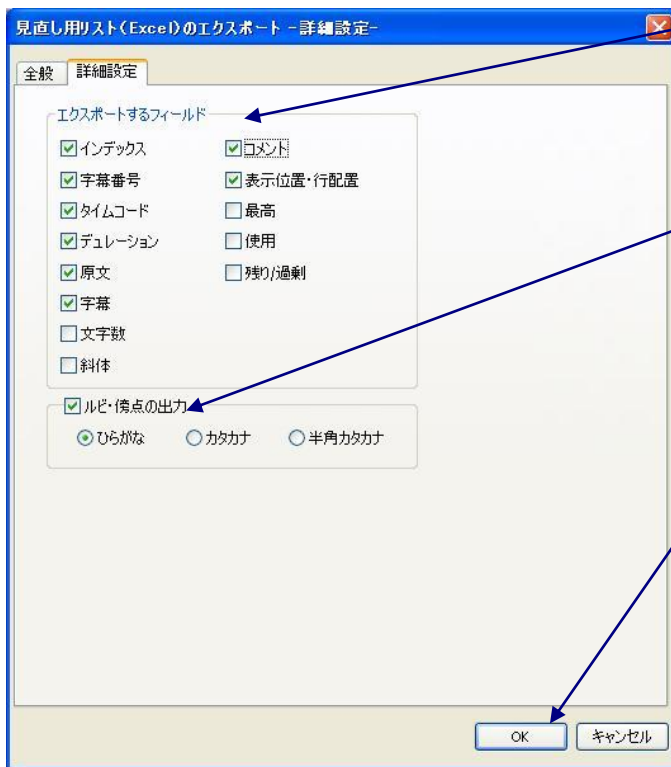
・詳細を設定します。



2. 自動的に表示されます。

ファイル名と保存先を変更する場合は、このボタンをクリックして入力します。

3. 出力範囲を指定します。



4. エクスポートするフィールドにチェックを入れます。

5. 傍点とルビの表示形式を選択します。

6. [OK]をクリックします。

⚠ Excel の仕様上、ルビにひらがなとカタカナが混在している場合は同時表示ができません。



7. 図のようなメッセージが表示された後、エクスポートが終了します。


### ○エクスポートしたテキストデータの例

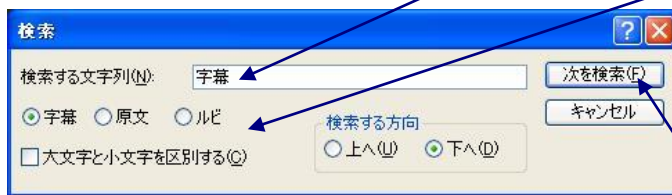
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
16	13	13 A	00:19:11:29	00:19:14:13	00:00:02:14	You seem to be busy even on your holidays.	休日に忙しそうですね	9					9.9	9.0	0.9
17	14	14 A	00:19:15:01	00:19:18:21	00:00:03:20	Well, actually, I'm in a mall in the neighborhood.	実は近所のデパートに 来ているんだ	11		縦左	中横	縦書き	14.7	17.0	2.3
18	8	8 B	00:19:18:29	00:19:21:28	00:00:02:24	Call from my boyfriend. About mission.	"彼氏から電話"	8					11.2	7.0	4.2
19	15	15 A	00:19:19:17	00:19:20:21	00:00:01:04	How I do so?	どうして?	5		縦左	左横	縦書き	4.5	4.0	0.5
20	16	16 A	00:19:22:08	00:19:24:09	00:00:02:06	Well, actually, I'm having a snack.	ほかに間食がなくて	9					3.3	9.0	0.2
21	17	17 A	00:19:24:12	00:19:27:04	00:00:02:22	and there are some places I have to stop by... so...	色々停まる必要があるの	9	*				10.9	9.0	1.9
22	18	18 A	00:19:28:09	00:19:31:00	00:00:02:21	can you wait for me at the cafe? I'll be there in an hour.	カフェで待っていて	9		縦左	中横	縦書き	10.2	9.0	1.2
23	4	4 B	00:19:32:25	00:19:33:07	00:00:03:12	Your boyfriend? You are on a mission!	"仕事中だよ"	7					13.6	6.0	7.6
24	19	19 A	00:19:33:09	00:19:36:21	00:00:03:12	All right. But may say 'hello' to your aunt on the phone?	お母さんへ 話してあげていいかな	5					13.6	13.0	0.6
25	20	20 A	00:19:37:16	00:19:40:13	00:00:02:27	I'm sorry but she's kind of sick today.	今日は具合が悪いみたいなんだ	14					11.6	14.0	2.4

## 編集メニュー

### 《字幕の検索》

字幕や原文、ルビにある文字列を検索します。

1. [編集] メニューの [検索] をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。



2. 検索する文字列を入力します。

3. 検索するフィールドを選択し、アルファベットの大文字と小文字が混ざった単語を検索する時には、[大文字と小文字を区別する]にチェックを入れます。

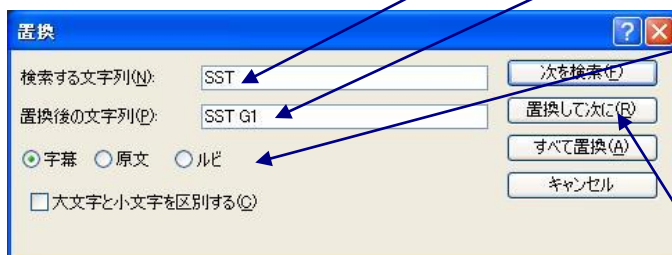
4. [次を検索]をクリックします。

- ・ 検索対象の文字列が含まれるテキストウィンドウがアクティブになります。
- ・ 検索したい文字をドラックしてから[検索]をクリックすると、検索する文字列に表示されます。置換も同様です。

### 《字幕の置換》

字幕や原文、ルビにある文字列を検索し、置換します。

1. [編集] メニューの [置換] をクリックします。



2. 検索する文列字を入力します。

3. 置換後の文字列を入力します。

4. 検索するフィールドを選択し、アルファベットの大文字と小文字が混ざった単語を検索する時には、[大文字と小文字を区別する]にチェックを入れます。

5. [置換して次に]をクリックします。

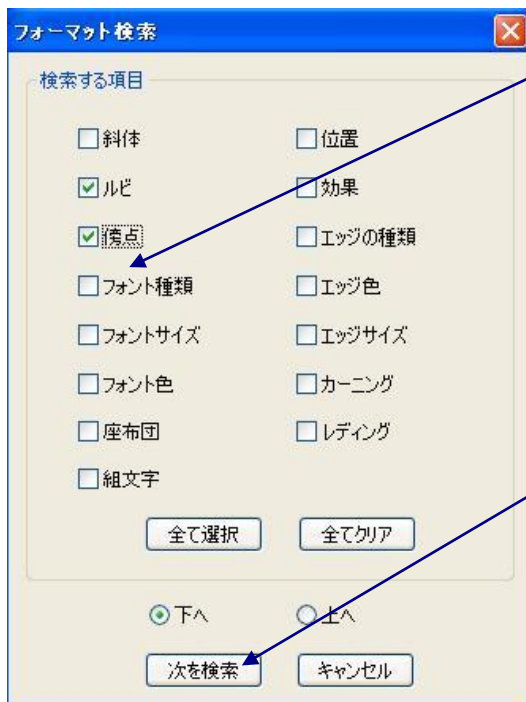


[すべて置換]をクリックすると、図のようなメッセージが出て置換が完了しますので、[OK]をクリックします。

### 《フォーマットの検索》

個別に編集をかけた文字列を検索します。

1. [編集] メニューの [フォーマットの検索] をクリックします。



2. 図のようなダイアログボックスが表示されるので、検索したい項目にチェックをします。複数項目のチェックが可能です。

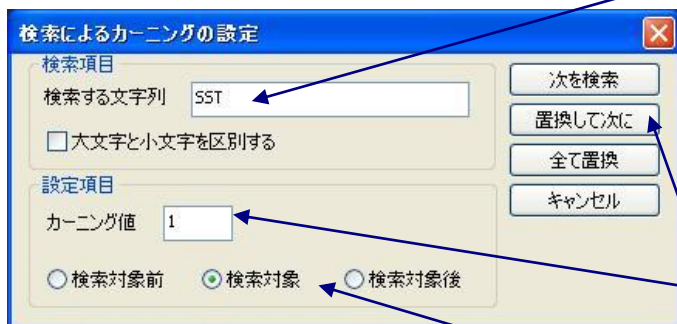
3. [次を検索]をクリックすると、[検索]機能同様、該当箇所の映像・字幕ウィンドウ・スポッティングが移動します。



## 《文字列検索によるカーニング設定》※オプション

指定した文字列を検索し、特定のカーニングをかけます。

1. [編集] メニューの [文字列検索によるカーニング設定] をクリックします。



2. 検索する文字列を入力し、アルファベットの大きい文字と小さい文字が混ざった単語を検索する時には、[大文字と小文字を区別する]にチェックを入れます。

3. カーニング値を入力します。

4. 検索対象を選択します。

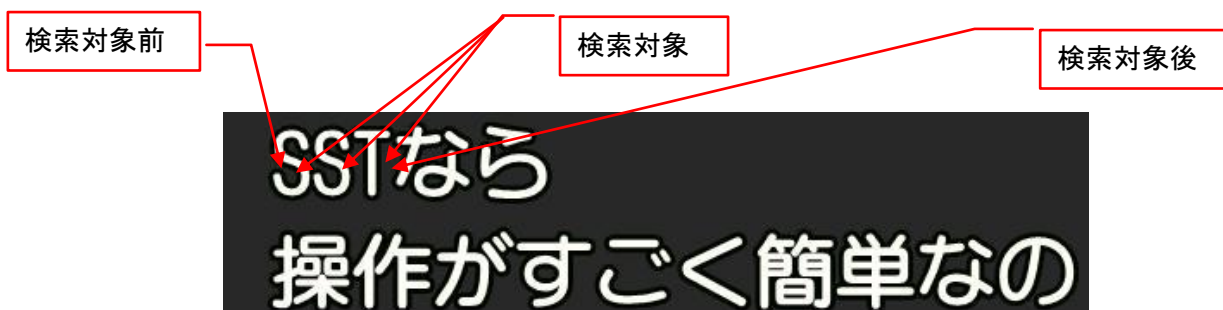
5. [置換して次に]をクリックします。

[すべて置換]をクリックすると、置換が完了しますので、[OK]をクリックします。

設定項目の検索対象について

- ・ 検索対象前：指定した文字の前を調整します。
- ・ 検索対象：指定した文字間を調整します。
- ・ 検索対象後：指定した文字と1つ後ろの文字を調整します。

○ 「SST」を指定した場合の例

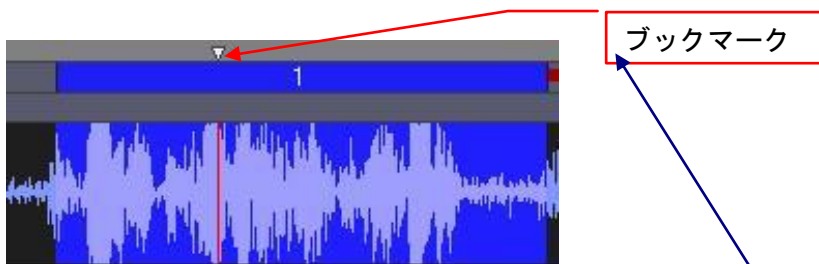




## 《ブックマーク》

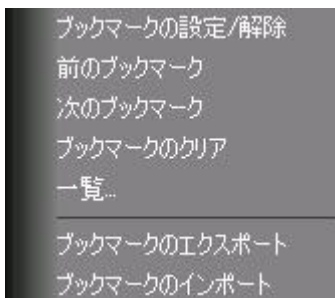
指定したタイムコードにブックマークをつけることができます。

1. ブックマークを付けたい音声波形上にカーソルを置きます。
2. [編集] メニューの [ブックマーク] をクリックし、メニューより[ブックマークの設定/解除] を選択します。または、音声波形を右クリックして設定することも可能です。P.30 参照。



5. [置換して次に]をクリック  
します。

### ○ブックマークのメニュー



- ・ブックマークの設定/解除…上記参照。
- ・前のブックマーク…現在のブックマークより1つ前のブックマークに飛びます。
- ・次のブックマーク…現在のブックマークより1つ後ろのブックマークに飛びます。
- ・ブックマークのクリア…全てのブックマークがクリアされます。
- ・一覧…ブックマークの一覧を表示します。P.63 参照。
- ・ブックマークのエクスポート…ブックマークのデータ（フレーム情報）をエクスポートすることができます（.txt）。
- ・ブックマークのインポート…フレーム情報（.txt）をインポートすることができます。

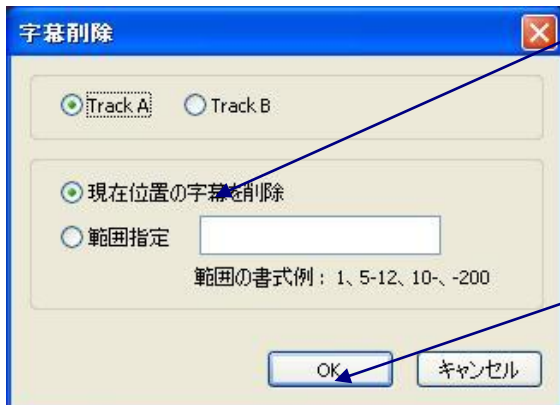


[編集] メニューの [ブックマーク] をクリックし、メニューの [一覧] を選択すると、図のような一覧が表示されます。

タイムコードを選択し、[ジャンプ] をクリックすると、該当するブックマークに移動します。また削除したい場合には、[削除] をクリックします。

## 《字幕削除》

1. [編集] メニューの [字幕削除] をクリックします。



2. 現字幕を削除する場合は [現在位置の字幕を削除] を選択します。

3. [OK]をクリックします。

## ○複数の字幕を一括削除する場合

1. [編集] メニューの [字幕削除] をクリックします。



2. 複数の字幕を削除する場合は、範囲を指定します。

3. [OK]をクリックします。

[a-b] という形で、削除する字幕番号の範囲を入力します。[a] は削除する最初の字幕、[b] は削除

する最後の字幕です。字幕[a] から最後の字幕まで削除するには、[ a- ]と入力します。最初の字幕

から字幕 [b] まで削除するには、[ -b ] と入力します。

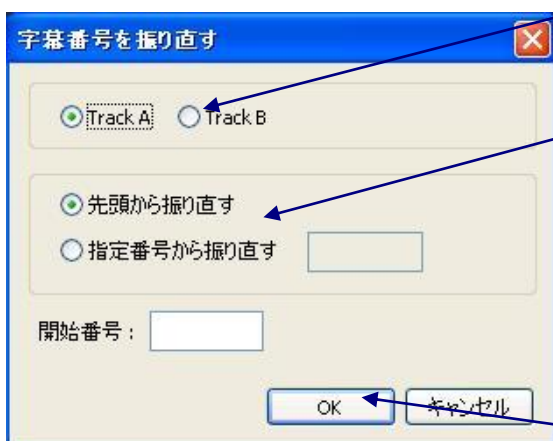
## ○その他の削除方法

- ・音声波形上の現字幕をCtrlキーを押しながらクリックして、マウスカーソルを音声波形ウィンドウの外にドラッグさせると、ゴミ箱の絵が出ます。マウスを放すと[削除してよろしいですか?]というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。
- ・字幕ウィンドウを選択し、右クリックで削除します。P.31 参照。

### 《字幕番号の振り直し》

スポットニングの追加や削除により、字幕番号が連番でなくなってしまった場合など、字幕番号を振り直したい時にこの作業を行います。

1. [編集] メニューの [字幕番号の振り直し] をクリックします。



2. [Track A]、または[Track B]を選択します。

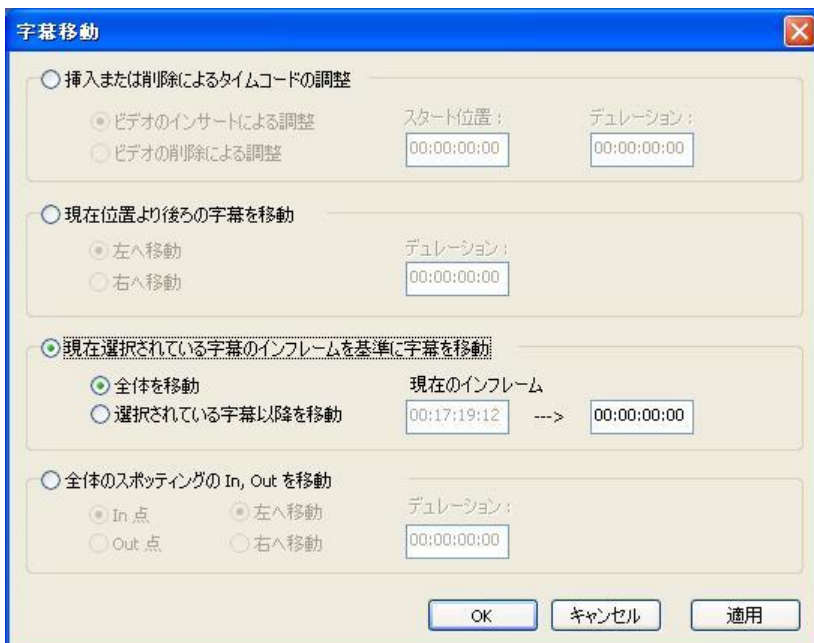
3. プロジェクトの[先頭  
の字幕から番号を振り直す]、  
または[指定番号から振り直す]  
を選択し、開始番号を指定し  
ます。入力できるのは整数の  
みです。

4. [OK]をクリックします。

### 《字幕移動》

字幕を一括で移動したり、調整する時に使用します。


1. 映像とタイムコードの調整が完了していることを確認してください。P.75 参照。
2. [編集] メニューの [字幕移動] をクリックします。
3. 該当する項目を選択し、必要事項を入力します。P.66～67 参照。
4. 入力が終わったら [OK] をクリックします。



- a. [挿入または削除によるタイムコードの調整]を選択
  - i. [ビデオのインサートによる調整]を選択

新しく映像が追加された場合、映像を追加した位置のタイムコードを[スタート位置]に入力し、追加した映像の長さを[デュレーション]に入力します。
  - ii. [ビデオの削除による調整]を選択

映像の一部が削除された場合、削除した箇所のタイムコードを[スタート位置]に入力し、削除した長さを[デュレーション]に入力します。

 映像が削除された部分の字幕をあらかじめ削除してから行ってください。
  
- b. [現在位置より後ろの字幕を移動]を選択

カーソルは、移動させたいスポッティングの前に置いてください。

  - i. [左へ移動]を選択

[デュレーション]に移動させたい時間の値を入力すると、『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている部分より後ろにあるスポッティングすべてが、[デュレーション]に入力された値分左へ移動します。
  
  - ii. [右へ移動]を選択

[デュレーション]に移動させたい時間の値を入力すると、『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている部分より後ろにあるスポッティングすべてが、[デュレーション]に入力された値分右へ移動します。
  
- c. [現在選択されている字幕のインフレームを移動]を選択
  - i. 『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている現字幕のインフレームが[現在のインフレーム]にデフォルトとして表示されています。
  - ii. [全体を移動]にチェックを入れ、[現在のインフレーム]の右側にある入力欄に移動したいタイムコードを入力すると、選択されているスポッティングを含めた全体のスポッティングが移動します。
  - iii. [選択されている字幕以降を移動]にチェックを入れ、[現在のインフレーム]の右側にある入力欄に移動したいタイムコードを入力すると、それ以降のスポッティングが移動します。
  
- d. [全体のスポッティングのIn,Outを移動]を選択
  - i. イン点を左へ移動した場合

すべてのスポッティングのイン点が設定した数値分左(前)に伸び、デュレーションが長くなります。

## ii. イン点を右へ移動した場合

すべてのスポッティングのイン点が設定した数値分右(後)に伸び、デュレーションが短くなります。

## iii. アウト点を左へ移動した場合

すべてのスポッティングのアウト点が設定した数値分左(前)に伸び、デュレーションが短くなります。

## iv. アウト点を右へ移動した場合

すべてのスポッティングのアウト点が設定した数値分右(後)に伸び、デュレーションが長くなります。

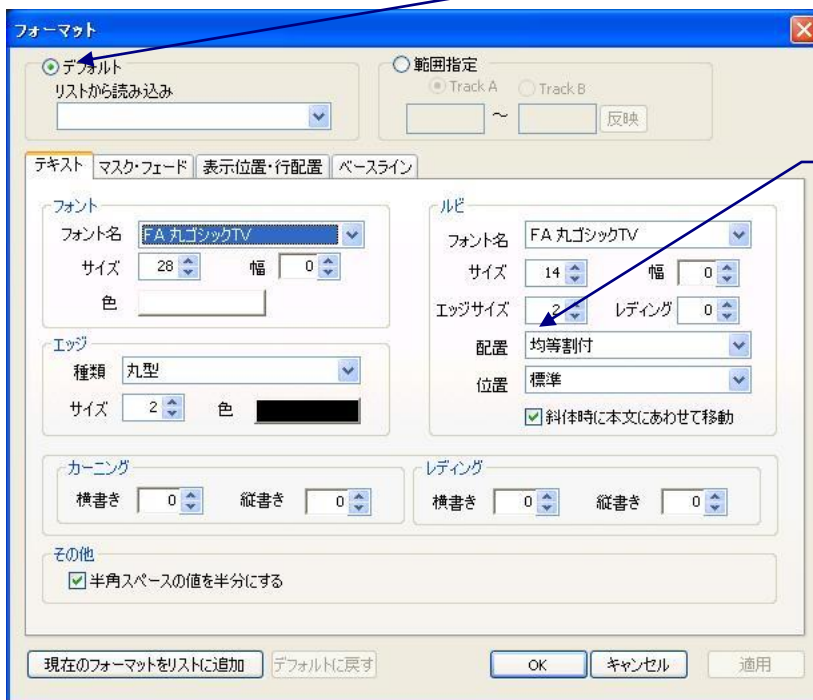
## 設定メニュー

### 《フォーマット設定（全編設定）》

字幕制作をする前に、フォーマットを設定しておきます。

[設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。

#### ・テキストの設定



[デフォルト]にチェックを入れます。

#### ルビについて

- ・「均等割付」：選択した文字列の範囲に対して均等に表示します。
- ・「左揃え」：選択した文字列に対して左寄りに表示します。
- ・「中央揃え」：選択した文字列の中央に表示します。

#### ・ルビ位置について

標準：横書きの場合、1行目は上、2行目は下に付きます。

縦書きの場合、1行目は右、2行目は左に付きます。

前：横書きの場合、すべての行の上に付きます。

縦書きの場合、すべての行の右に付きます。

後：横書きの場合、すべての行の下に付きます。

縦書きの場合、すべての行の左に付きます。

レディングとは、字幕とルビの間隔です。

#### ・エッジについて

エッジの種類には[角型]、[丸型]、[シャドウ]があります。シャドウのズレ幅はエッジサイズの設定で調整できます。イメージは、P.37を参照ください。

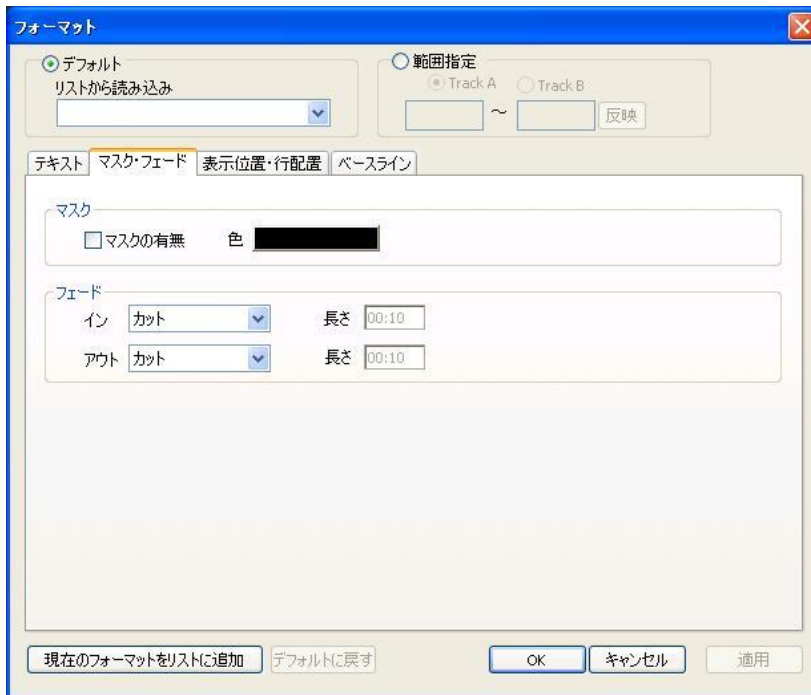
#### ・その他

##### 設定メニュー～フォーマット設定（全編設定）

[半角スペースの値を半分にする]にチェックを入れると、半角スペースが更に半分になります。

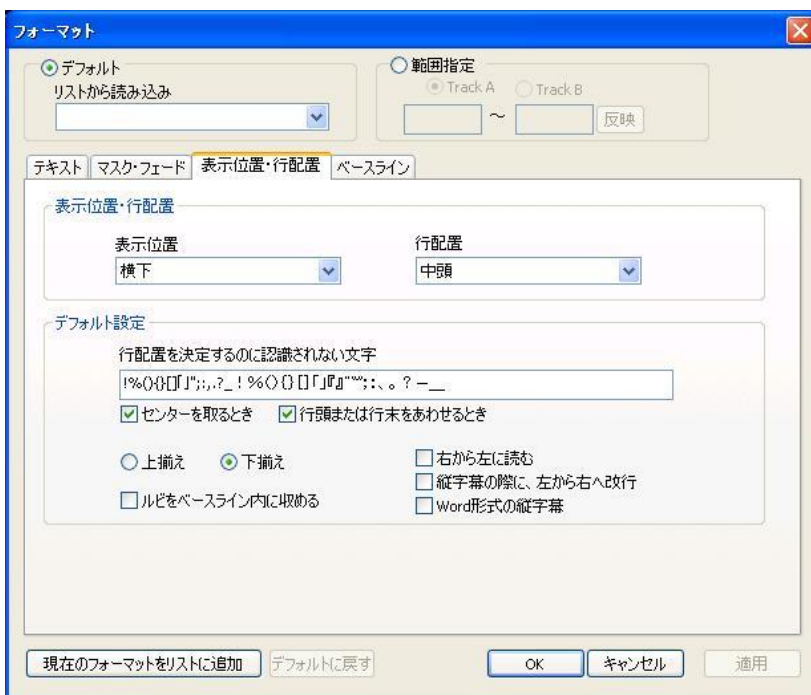


- ・マスク・フェードの設定 ※オプション  
[マスク]や[フェード]の調整をします。





マスクとは・・・P.41 参照  
フェードとは・・・P.40 参照  
通常の場合は、「カット」といいます。

- ・表示位置・行配置の設定  
[表示位置・行配置]や[デフォルト設定]の調整をします。



設定メニュー～フォーマット設定（全編設定）

- a. 行配置を決定するのに認識されない文字  
頭揃えまたは中央揃えにする時に、文字として認識させたくない記号を登録することができます。
- b. センターを取る時  
チェックを入れると、字幕をセンタリングした時に登録した記号は認識されません。
- c. 行頭または行末をあわせる時  
チェックを入れると、行頭または行末をあわせる時に登録した記号は認識されません。
- ・チェックを入れた時
  - ・チェックを外した時
- 
- 
- d. 上揃え／下揃え
- ・上揃え：ベースラインより下に字幕が表示されます。
  - ・下揃え：ベースラインより上に字幕が表示されます。
- e. ルビをベースライン内に収める  
チェックを入れると2行字幕などで下ルビを使用した場合、下ルビも含めてベースライン内に収まるよう自動的に字幕位置が上がります。
- ・CANVASs1000HD／CANVASs2000A をご使用になる場合は、各アプリケーションを2.0.1.12以上にアップデートしてください。
  - ・Kanpake100はこの機能に対応できておりません。
- f. 右から左に読む（アラビア語）に対応  
字幕ウィンドウにアラビア語のテキストを貼り付けると表示されますが、直接入力する場合は、チェックを入れることにより字幕ウィンドウのレイアウトを右から入力できるようになります。
- g. 縦字幕の際に左から右へ改行  
チェックを入れると、縦字幕を改行した時に2行目が右側に改行されます。これによりモンゴル語の縦表示が可能になります。

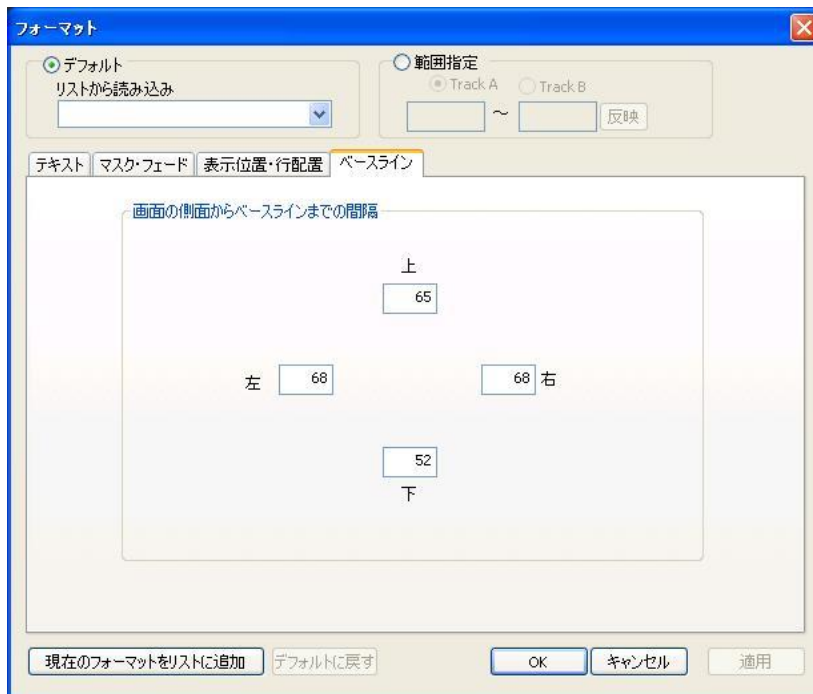
## h. Word 形式の縦字幕

主にモンゴル語の表示で使用します。チェックを入れると縦字幕が下記のように表示されます。



### ・ベースラインの設定

ベースラインとは・・・映像の上下左右の端から字幕位置までの距離のことで、ピクセル単位で数値を入力します。



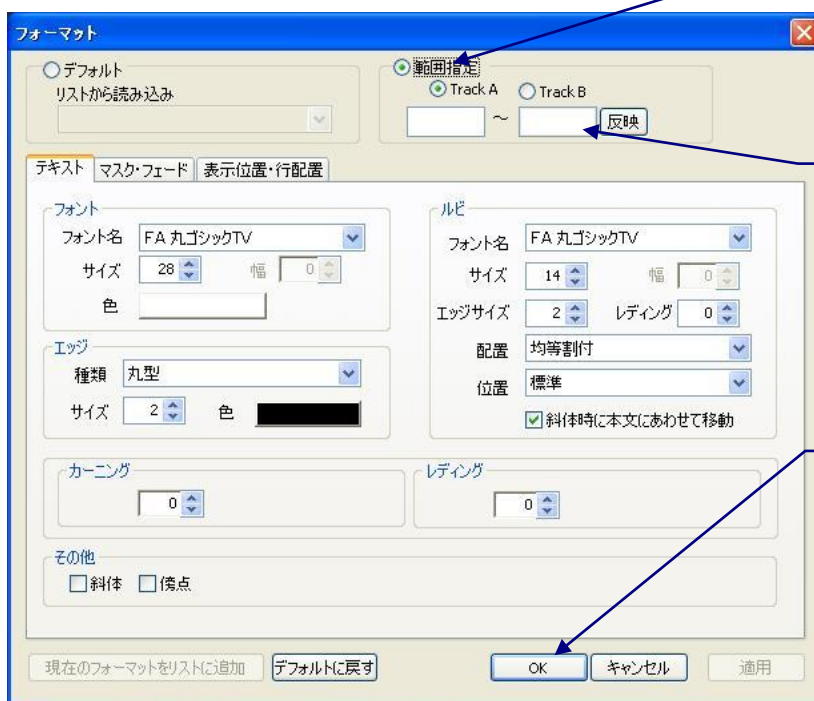
### 《フォーマットの設定（範囲設定）》

指定した範囲の字幕を一度にまとめてフォーマット設定することができます。

デフォルト設定に戻しても、範囲指定で設定したフォーマットは変更されません。

**!** フォントサイズ／カラー、エッジサイズ／カラー、マスク、フェードを範囲設定するためには高等編集オプションが必要です。

1. [設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。



2. [フォーマット]画面の[範囲指定]にチェックを入れます。

3. 設定する範囲の最初と最後の字幕番号を入力します。

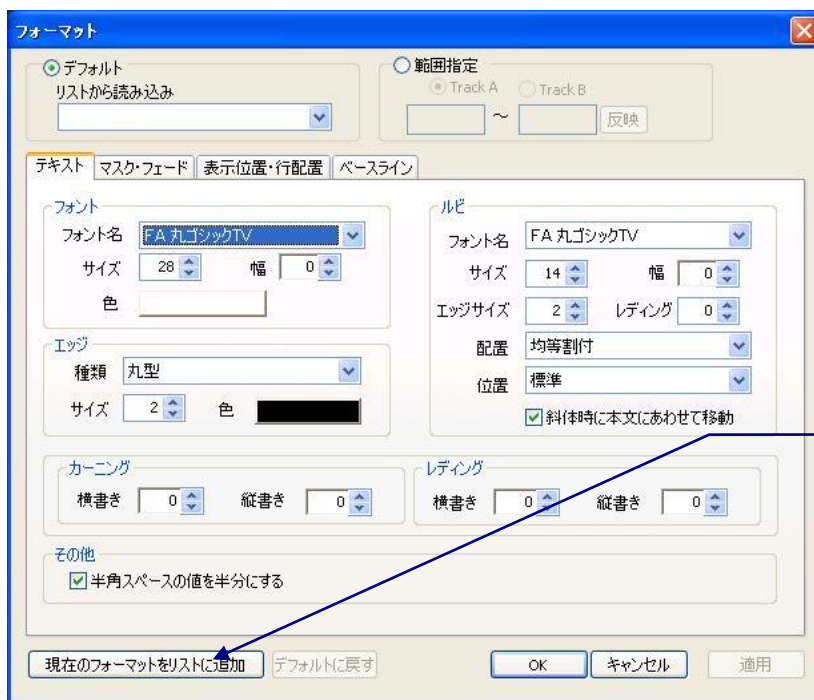
4. 必要な項目を設定します。

5. [OK]をクリックします。

## 《デフォルト・フォーマットリストの作成》

設定を行ったフォーマットを登録することができます。これによりリストから選択するだけで、毎回フォーマット設定する必要がありません。

1. [設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。



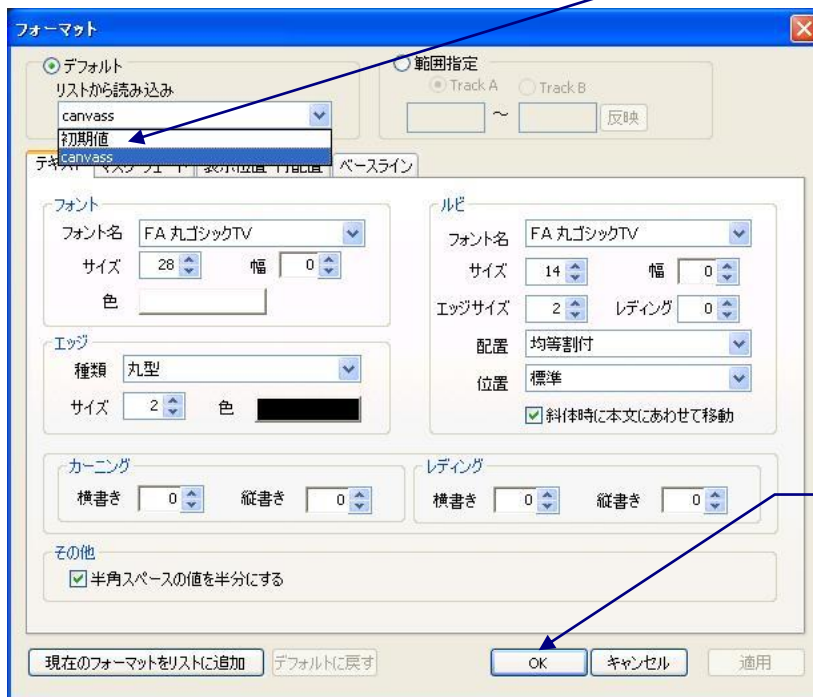
2. 各種設定を行います。  
[テキスト]  
[マスク・フェード]※オプション  
[表示位置・行配置]  
[ベースライン]

3. [現在のフォーマットをリストに追加] をクリックします。



4. フォーマット名を入力します。

5. [OK] をクリックします。



6. 登録したデフォルト・フォーマットリストを使用する場合は、[フォーマット]画面の[リストから読み込み]から選択します。

7. [OK]をクリックします。

### 《デフォルト・フォーマットのインポート・エクスポート》



[設定]メニューの[デフォルト・フォーマット リスト]をクリックすると登録されているリストの一覧が出ます。

フォーマットを選択し、[エクスポート]をクリックすると、fmt ファイルとして出力することができます。また、[インポート]をクリックすると、fmt ファイルを取り込むことができるので、フォーマットを共有するのに便利です。

**⚠** SST で作成したフォーマット (.zst) は読み込むことができません。

フォーマットを選択し、[リストから削除]をクリックするとリストから削除することができます。

## 《タイムコードの基本設定》

初めて映像ファイルを開き、作業に入る前は必ずタイムコードの調整を行います。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [基本設定] を選択します。

2. 現フレームのタイムコードを入力します。

3. [フレームタイプ]を選択します。

4. [OK]をクリックします。

## &lt;使用する映像のフレームの種類&gt;

- ・ 30Fr DF・・・ドロップフレーム(29.97fps/主にテレビ放送用映像)
- ・ 30Fr NDF・・・ノンドロップフレーム (30fps/DVD、ビデオ用映像)
- ・ 25Fr・・・PAL：主にヨーロッパや中国で使用されています。(25fps)
- ・ 24Fr・・・29.97Frのワーク映像を使用して24Frのスポッティング作業を行う際の設定です。  
VHSテープからエンコードした素材など、2-3プルダウンされた映像で24Frの作業を行う場合はすべてこの設定を使用します。(23.98fps/デジタルシネマ及び映画素材)
- ・ 24p・・・2-3プルダウンされていない、24Frのwmvファイルを使用してスポッティング作業を行う際の設定です。(24fps(P))



### 《フレーム落ち情報の設定》

フレーム落ちとは、ビデオを MPEG-1 にエンコードする際に、1～2 フレーム取りこぼしが発生する現象のことです。フレーム落ちがあると、基本設定でタイムコードを合わせても、フレーム落ちしたところからタイムコードが合わなくなるので、調整が必要です。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [フレーム落ち情報の設定] を選びます。



2. フレーム落ちした後のタイムコードを入力し、[OK] をクリックしてください。

 フレームがダブっている場合は、1 フレームずつ上記の設定を行ってください。

### 《設定情報のクリア》

タイムコードの設定をキャンセルします。何度も [フレーム落ち情報の設定] が必要な映像で作業したプロジェクトファイルを新たな映像ファイルで開く時に使用します。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [設定情報のクリア] を選びます。
2. [タイムコードをリセットします。よろしいですか?] という表示が出るので、[OK] をクリックします。
3. [OK] をクリックすると、映像が閉じるので、新たに映像を開く場合は、[ファイル] メニュー → [映像ファイルを開く] から開いてください。

### 《フレームタイプの変換》

NTSC、PAL、24 フレームそれぞれへの変換をします。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、[フレームタイプ変換] を選びます。
2. タイムコードを入力し、フレームタイプを選択して、[OK] をクリックします。

## 《画面調整》

マスターテープの画角と目的モニタの解像度を調整します。画面調整解説については、P.78 参照。

1. [設定] メニューの [画面調整] をクリックします。

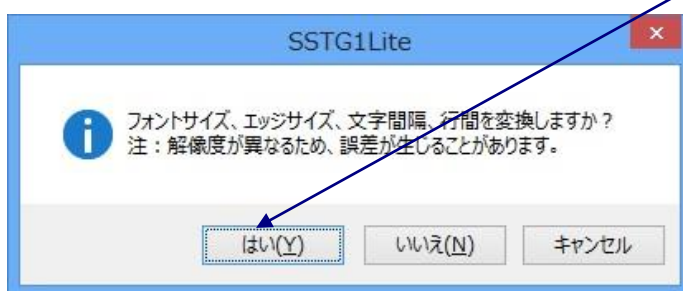
- ・マスターテープ（映像素材）：字幕制作用（SST G1 Lite に取り込む）のワークテープのことをさします。
- ・目的モニタ（出力対象）：視聴者やユーザーが 4:3 モニタや 16:9 モニタでどのような画角で視聴できるかを意味します。



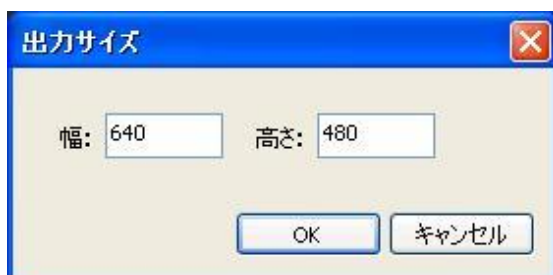
2. [マスターテープ(映像素材)] を選択します。

3. [目的モニタ(出力対象)] の選択を行います。

4. [OK]をクリックします。



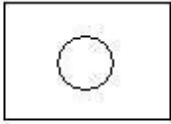
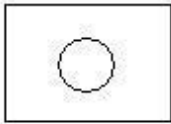
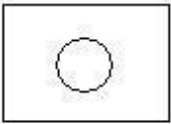
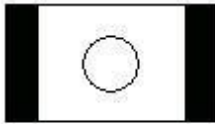
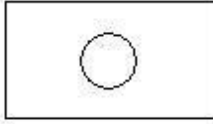


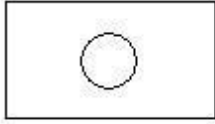
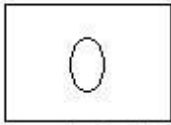
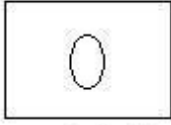
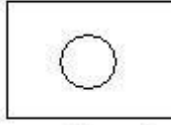
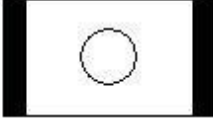
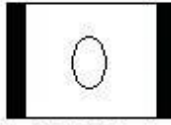

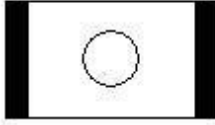
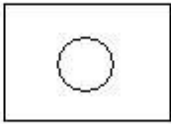
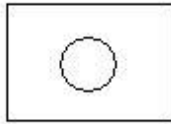
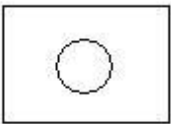
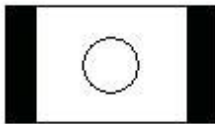
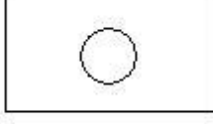
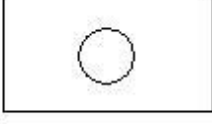
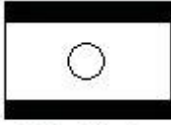
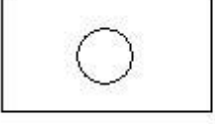
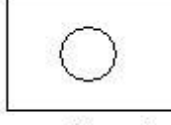
5. 変換をする場合は、[はい] を、変換しない場合は、[いいえ]を選択してください。



[目的モニタ(出力対象)] のリスト内にある「ユーザー定義サイズ」を選択すると図のような画面が表示され出力サイズを任意で入力することができます。

### 《SST G1 Lite 画像調整解説》

SST G1 Lite で設定できる画像調整の一覧です。

オリジナル マスターテープ	SST G1(MPEG-1) 字幕ワーク映像		目的モニタ(出力対象) 4:3	目的モニタ(出力対象) 16:9
 4:3	 4:3	⇒		 サイドパネル追加
 16:9	 4:3レターボックス	⇒	 レターボックス	
	 4:3スクイーズ	⇒		
	 4:3スクイーズ	⇒	 エッジクロープ	
 16:9	 4:3サイドブラック	⇒	 エッジクロープ	
オリジナル マスターテープ	SST G1(WMV) 字幕ワーク映像		目的モニタ(出力対象) 4:3	目的モニタ(出力対象) 16:9
 4:3	 4:3	⇒		 サイドパネル追加
 16:9	 16:9	⇒	 レターボックス	 16:9
		⇒	 エッジクロープ	

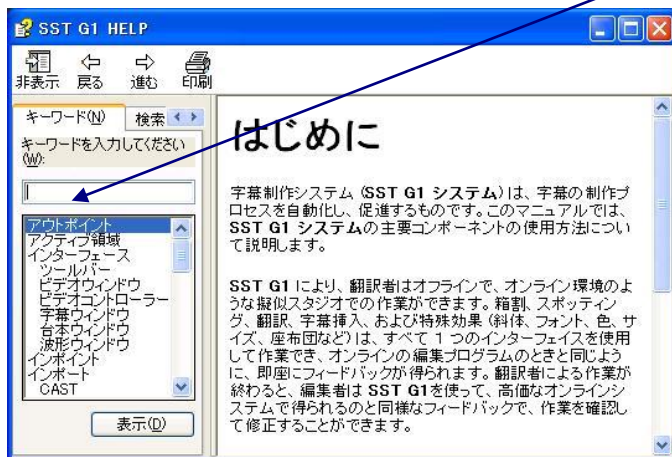
- ・レターボックス：16:9の映像を4:3に変換した際の上下に黒味がある表示形式です。
- ・スクイーズ：16:9の映像を4:3に変換した際に、左右が圧縮され縦長に表示される形式です。
- ・エッジクロープ：サイドカットとも呼ばれます。

## ヘルプメニュー

### 《トピックの検索》

SST G1 Lite のヘルプ機能です。

1. [ヘルプ] メニューの [トピックの検索] をクリックします。



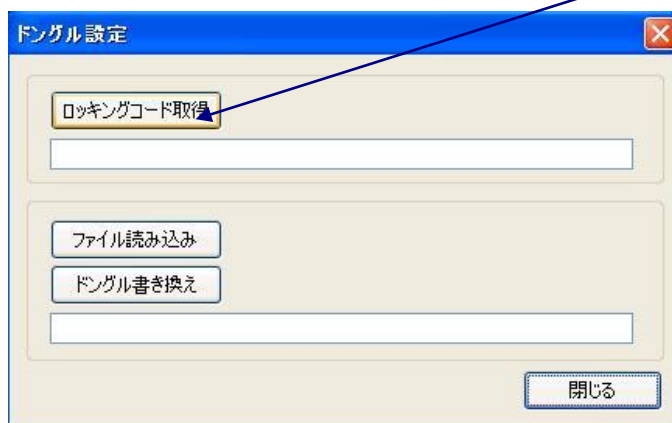
2. キーワードを入力して検索します。

### 《ドングル設定》

高等編集機能オプション追加の時に使用します。

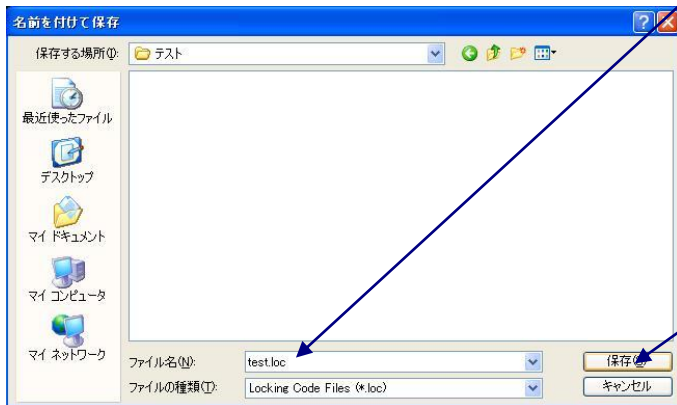
ドングルをさした状態で作業してください。

1. SST G1 Lite をダブルクリックして立ち上げます。
2. [ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。



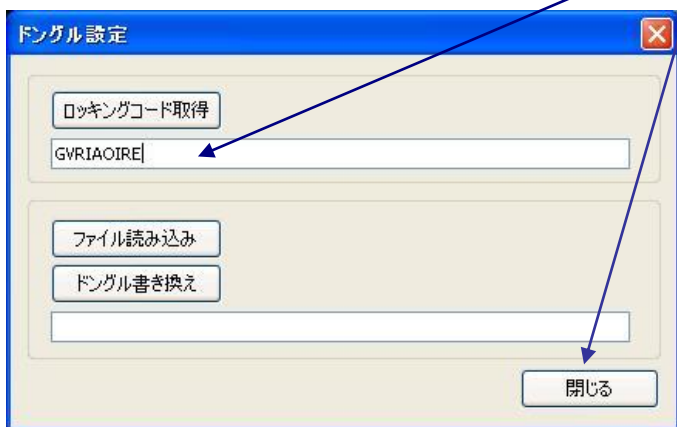
3. [ロッキングコード取得] をクリックします。

4. [ロッキングコードファイルを作成しますか?]とメッセージが出るので、[はい]をクリックします。



5. ドングル番号（ライセンス証に記載された 4 桁のドングルシリアル No.）をファイル名として入力し、保存先を指定してください。

6. [保存]をクリックします。



7. コードが入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



test.loc



test.lic

8. 保存先に loc ファイルができます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。

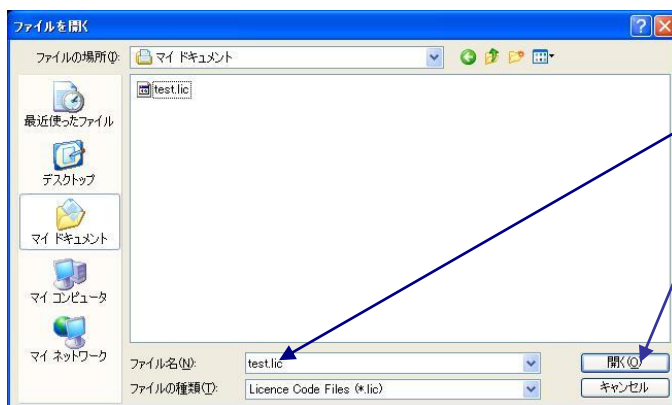
【メールアドレス】

[sales@canvass.co.jp](mailto:sales@canvass.co.jp)

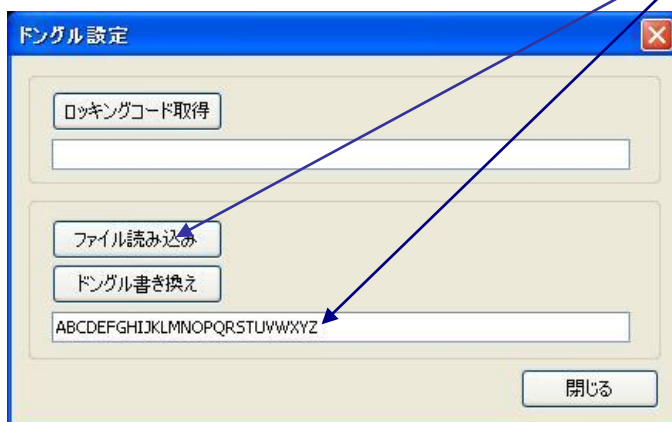
9. 株式会社カンバスから.lic ファイルを添付したメールが送付されます。このファイルをパソコン上に保存してください。



10. [dongle 設定]のダイアログボックスを表示し、[ファイル読み込み]をクリックします。



11. lic ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



12. コードが入っていることを確認して、[dongle 書き換え]をクリックします。

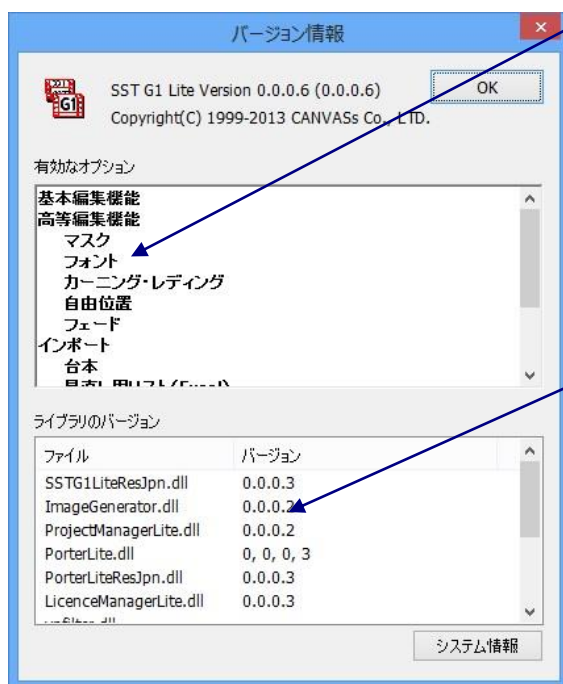
13. dongle の書き換えが完了しました。

オプション追加の書き換え後は、「バージョン情報」で内容を確認してください。  
詳細は P.82 参照。

## 《バージョン情報》

SST G1 Lite のバージョン情報を確認することができます。

1. [ヘルプ] メニューの [バージョン情報] をクリックします。



[有効なオプション]のリストで、SST G1 Lite で使用できるオプションの情報が表示されます。使用できる機能は、太字で表示されます。

[ライブラリのバージョン]で、ライブラリファイルとそのバージョンの一覧を表示します。



